

SOX+製品 導入ガイド

iGrafx[®]2013

SOX⁺ Version 6

2013/02/15
(株)サン・プランニング・システムズ

この度は、SOX+製品をご購入いただきましてありがとうございます。

本『SOX+製品 導入ガイド』は、各製品のインストール手順、および注意事項などについてまとめたガイドです。

お使いになる製品によりご覧いただく項目が異なりますので、以下の目次を参考に必要な項目をご覧ください。

目次

◆ iGrafx および SOX+をインストールする

| | |
|-----------------------------------|-----|
| ◆ iGrafx 製品インストールガイド | P6 |
| iGrafxインストールディスク | P6 |
| iGrafxシステム要件 | P6 |
| iGrafx 2013 のインストール | P7 |
| 1 iGrafx 2013 を新規インストールする | P7 |
| 2 iGrafx 2013 にバージョンアップする | P10 |
| 3 iGrafx Viewerを新規インストールする | P11 |
| 4 iGrafx 2013 をアンインストールする | P11 |
| ◆ SOX+ 詳細インストールガイド | P12 |
| SOX+製品構成 | P12 |
| SOX+システム要件 | P13 |
| SOX+の対応言語 | P13 |
| SOX+のインストール | P13 |
| 1 SOX+ を新規インストールする | P14 |
| 2 SOX+ Viewer をインストールする (有償オプション) | P16 |
| 3 SOX+ をバージョンアップする | P17 |
| AdministratorKitのインストール | P17 |
| 1 AdministratorKitを新規インストールする | P18 |
| 2 AdministratorKitをバージョンアップする | P20 |
| インストールの注意点 | P21 |
| SOX+整備/運用評価オプションの利用 | P21 |
| SOX+とAdministratorKitのアンインストール | P21 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| ◆ 多言語版 SOX+ ご利用ガイド | P22 |
| SOX+のインストール言語 | P22 |
| 1 OSの標準言語が日本語の場合 | P22 |
| 2 OSの標準言語が英語・中国語の場合 | P22 |
| AdministratorKit のインストール言語 | P23 |
| SOX+ 中国語版をご利用の際に | P23 |
| SOX+ サーバー連携機能の対応言語 | P23 |
| SOX+ 整備/運用評価オプションの対応言語 | P23 |

◆ SOX+の旧バージョンから移行する

| | |
|---|-----|
| ◆ SOX+ バージョンアップガイド | P25 |
| バージョンアップ手順の概要と準備 | P25 |
| 1 バージョンアップ前の確認と準備 | P25 |
| 2 iGrafX製品およびSOX関連製品のバージョンアップ | P25 |
| 3 配布ファイルのバージョンアップ | P25 |
| 図形集、iGrafXテンプレートの移行 | P26 |
| 1 旧バージョンの配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合 | P26 |
| 2 旧バージョンの配布ファイルの設定が「共有」の場合 | P27 |
| SOX+Ver.5.0 (iGrafX 2011) からVer.6.0 への設定の移行 | P28 |
| 1 配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合 | P28 |
| 2 配布ファイルの設定が「共有」の場合 | P29 |
| SOX+Ver.4.0 (iGrafX 2009) からVer.6.0 への設定の移行 | P29 |
| SOX+Ver.3系 (iGrafX 2007) からVer.6.0 への設定の移行 | P30 |
| SOX+Ver.2系 (iGrafX 2006) からVer.6.0 への設定の移行 | P32 |
| 1 ドキュメントの互換性について | P32 |
| 2 自動コンバートについて | P32 |
| 3 Ver.2系の設定の移行 | P32 |
| 1 Ver.2.1.xの設定の移行 | P32 |
| 2 Ver.2.0.xの設定の移行 | P34 |
| 4 配布ファイルバージョンアップサービス | P34 |
| ◆ SOX+ 新機能概要 | P35 |
| ◆ SOX+ バージョンアップ履歴 | P36 |

◆ SOX+ 整備/運用評価オプションをご利用の場合

| | |
|--|-----|
| ◆ SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド | P39 |
| SOX+整備/運用評価オプションの導入 | P39 |
| 1 SOX+に整備/運用評価オプションライセンスキーを登録する | P39 |
| 2 AdministratorKitに整備/運用評価オプションライセンスキーを登録する .. | P40 |
| 3 AdministratorKitに以前のバージョンの配布ファイルを読み込む | P41 |
| ◆ SOX+整備/運用評価オプション バージョンアップガイド | P42 |
| 新バージョンのライセンスキーを登録する | P42 |
| ライセンスキー登録時の注意 | P42 |
| SOX+整備/運用評価オプションで使用する設定を選択する | P43 |
| 1 AdministratorKitを初期化する | P43 |
| 2 SOX+カスタマイズ設定 (旧バージョンの配布ファイル) を読み込む | P43 |
| 3 SOX+整備/運用評価オプション と DesignTest の相違点 | P47 |

◆ 困ったときは

| | |
|--------------------|-----|
| ◆ ヘルプデスクのご案内 | P51 |
|--------------------|-----|

iGrafx および SOX+をインストールする

◆ iGrafx をインストールする・バージョンアップする

- iGrafx製品インストールガイド P6

iGrafx FlowCharterやiGrafx Viewerをインストールする際にお読みください。

◆ SOX+関連製品をインストールする・バージョンアップする

- SOX+ 詳細インストールガイド P12

SOX+やSoxPulsAdministratorKit(旧 管理者キット)、SOX+ Viewerをインストールする際にお読みください。

なお、SOX+をバージョンアップされる場合は、『SOX+ バージョンアップガイド』(P25～)もあわせてお読みください。

◆ SOX+の英語版・中国語版を使用する

- 多言語版SOX+ ご利用ガイド P22

SOX+製品を海外でご利用される場合、事前にお読みください。



iGrafx 製品 インストールガイド



この度は iGrafx 製品 をご購入いただきましてありがとうございます。

本ガイドでは、iGrafx製品のインストールについて説明しております。

SOX+関連製品のインストールについては『SOX+詳細インストールガイド』(P12～)を、整備/運用評価オプションの導入については、『整備/運用評価オプション スタートガイド』(P39～)をそれぞれご覧ください。

◆ iGrafx インストールディスク

「iGrafx インストールディスク」では、購入されたライセンスとそのライセンスキーに応じて、以下の iGrafx 製品をインストールすることができます。

購入されたライセンスの種類については、ライセンス証書の記載をご覧ください。

| 製品名 | 購入ライセンス |
|-------------------------|---|
| iGrafx Viewer 2013 | ライセンス不要 |
| iGrafx FlowCharter 2013 | iGrafx FlowCharter License Multilingual |
| iGrafx Process 2013 | iGrafx Process License Multilingual |

Multilingual ライセンスでは、日本語および英語の他、中国語、ドイツ語、フランス語等8か国語をご利用いただけます。これらの言語セットは、インストール先の標準言語設定を判別してインストールされるほか、カスタムインストールで任意に追加できます。

※1) SOX+は日・英・中の3か国語に対応しています

※2) iGrafx Process Central Client 及び SOX+ Server Edition は日本語版のみ対応しています

◆ iGrafx システム要件

iGrafx 2013 製品をインストールしてご使用になるには、以下の環境が必要です。

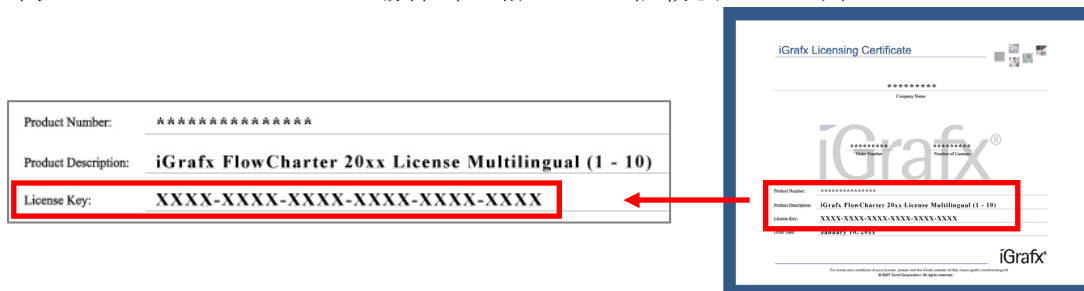
| | |
|----------|--|
| CPU | Intel Pentium IV processor 1GHz 以上または同等の互換プロセッサ |
| OS | Windows XP SP3, Windows Vista SP2, Windows 7 SP1, Windows 8 ※ 64bit OS 上では、32bit 互換モードで動作します ※ Windows 2000 では動作しません |
| メモリ | 1GB 以上を推奨 |
| ディスプレイ | XGA(最小で 1024×768 ピクセル)以上の高解像度ビデオグラフィックカード、およびモニタ |
| HDD 空き容量 | iGrafx 標準インストール:約 106MB カスタムインストール:約 118MB ~ 130MB |
| ドライブ | CD-ROM ※CD-ROM ドライブが使用できない場合は、インストールに限定して社内ネットワーク上にコピーを置いて使用することができます。利用規約については、CD 同梱の『license.txt』をご覧ください |

※SOX+関連製品の固有の必要環境については、『SOX+詳細インストールガイド』(P12～)をご覧ください。

◆ iGrafx 2013 のインストール

iGrafx 2013 製品のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

- 「iGrafx インストールディスク」CD-ROM（青色のラベルのCD-ROM）
- iGrafx 2013 アプリケーションのライセンスキーが記載された、青色の**ライセンス証書**
※例：iGrafx FlowCharter の場合（24桁のキーが記載されています）



iGrafx 2013 を新しくPCにインストールする場合は、以下の「1 iGrafx 2013 を新規インストールする」をご覧ください。

旧バージョンがインストールされているPCをiGrafx 2013 にバージョンアップする場合は、「2 iGrafx 2013 にバージョンアップする」(P10～)を併せてご覧ください。

1 iGrafx 2013 を新規インストールする

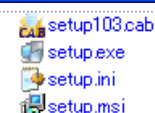
iGrafx 2013 の新規インストールは、以下の手順で行います。

- ① PC に「iGrafx インストールディスク」CD-ROM をセットし、Windows インストーラが起動して「iGrafx 2013 セットアップ」の画面が出るまでしばらく待ちます。

画面の指示に従い、すべての Windows プログラムを閉じた上で「次へ(N)」をクリックしてください。

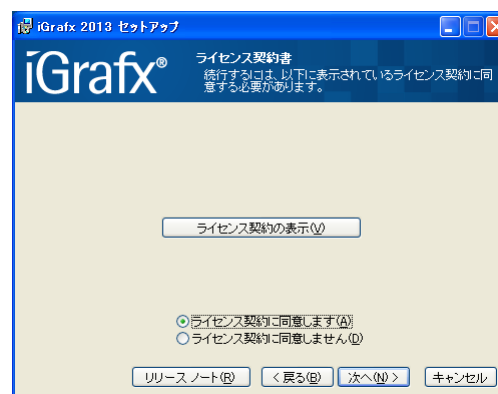


※ 画面が表示されない場合は、「マイ コンピュータ」のCD-ROMドライブを右クリックし、「自動再生(P)」コマンドを実行するか、「開く(O)」コマンドでフォルダを開いてから「setup.exe」を実行してください。



- ② 「ライセンス契約書」ページが表示されます。「ライセンス契約の表示」ボタンをクリックすると、本製品についての iGrafx, LLC エンド・ユーザー・ライセンス契約が表示されます。

契約の文章を最後までご覧頂いた上で「ライセンス契約に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。



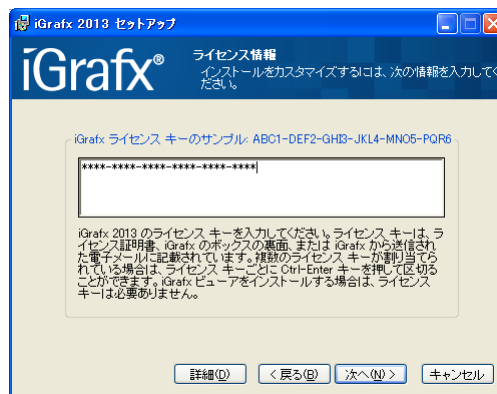
③ 「ライセンス情報」ページが表示されます。

お手元の iGrafx 2013 ライセンス証書に記載されているライセンスキー(24 文字)を入力してください。

キーは、ライセンス証書「iGrafx Licensing Certificate」の「License Key:」の行に記載されています。

※ 大文字、小文字は区別されません。

※ 「 - 」は入力しなくても構いません。



必要なキーを入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。

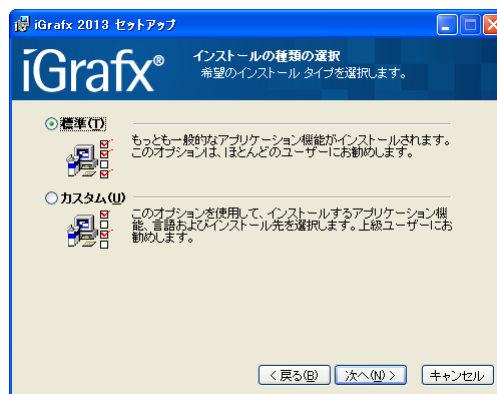
キーを入力せずにインストールすると、編集機能に制限のある iGrafx Viewer としてインストールされます。その場合は、インストール後に iGrafx を起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」からライセンスキーを追加登録してください。

④ 「インストールの種類を選択」ページが表示されます。

あらかじめ「標準」が選択されていますので、通常はそのまま「次へ(N)」をクリックして進んでください。

次の場合は、「カスタム」を選択してください。

- 使用ユーザーを限定したい場合
- アプリケーションのインストール先を指定したい場合
- 使用する言語を追加したい場合
- パブリックメディアコレクションをインストールしたくない場合
- iGrafx Process Central 及び SOX+ Server Edition を利用する場合



「標準」インストールの場合は手順⑥へ、「カスタム」インストールの場合は手順⑤へ進んでください。

iGrafx Process Central Client 及び SOX+ Server Edition を利用する場合には、カスタムインストールが必要です。

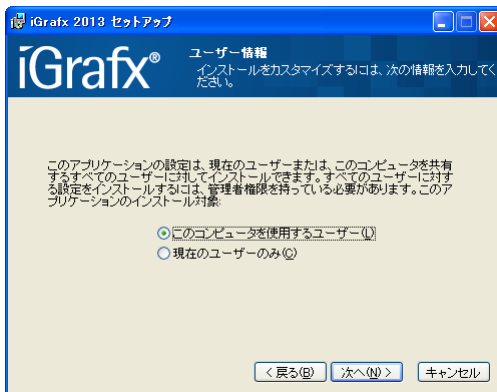
詳細は、製品と共に納品される『iGrafx Process Central インストールガイド』をご覧ください。

⑤ 「カスタムインストール」を選択した場合

1、「ユーザー情報」ページが表示されます。

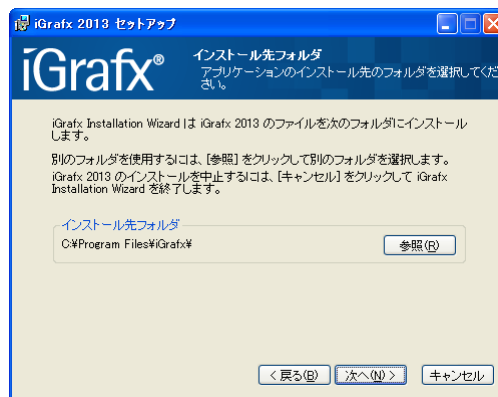
管理者権限を持っている場合は、「このコンピュータを使用するユーザー」にインストールするか、「現在のユーザーのみ」(インストールを実行しているユーザー)にインストールするかを選択することができます。

必要に応じて設定を変更し、「次へ(N)」をクリックしてください。



2、「インストール先フォルダ」ページが表示されます。
必要に応じて、アプリケーションのインストール先を変更することができます。

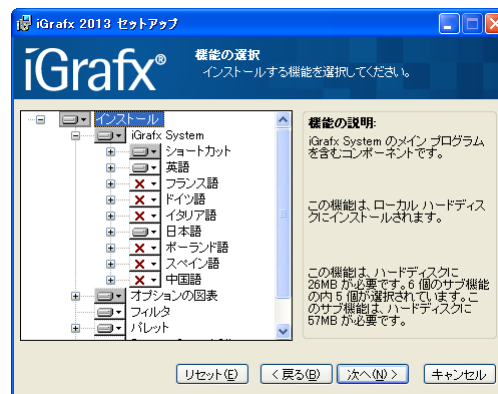
必要に応じて設定を変更し、「次へ(N)」をクリックしてください。



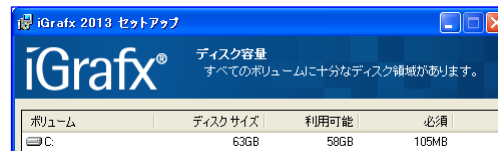
3、「機能の選択」ページが表示されます。
主に、以下のような機能の選択ができます。

- 言語セットの選択
追加したい言語セットを選択することができます。
- パレット(パブリックメディアコレクション)の選択
必要なコレクションを追加でインストールするほか、不要なコレクションをインストール対象から外すこともできます。
- アプリケーションショートカットの追加
iGrafx Viewer などのショートカットを追加することができます。
- iGrafx Process Central Client のインストール
iGrafx Process Central 及び SOX+ Server Edition をご利用の際にインストールします。

追加したい機能もしくはインストールから外したい機能を選択し、「次へ(N)」をクリックしてください。

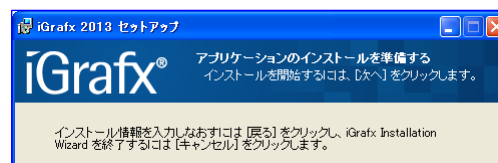


⑥ 選択した機能に合わせて「ディスク容量」の確認画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックします。



⑦ 「アプリケーションのインストールを準備する」ページが表示されますので、あらためてインストールの準備が整っているか確認の上、「次へ(N)」をクリックしてください。

インストールが開始されます。



⑧ インストールが終了すると、「インストールの完了」画面が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。



- ⑨ Windows の「スタート」メニューの「すべてのプログラム」に「iGrafx」が登録されていることを確認し、PC から「iGrafx インストールディスク」CD-ROM を取り出します。

- ※ SOX+など関連製品のインストールが必要な場合は、CDを入れ替え、続けてインストールを行ってください。
 ※ SOX+とそのインストールについては、『SOX+詳細インストールガイド』(P12～)をご覧ください。

2 iGrafx 2013 にバージョンアップする

iGrafx の旧バージョンがインストールされている場合、上書インストールで iGrafx 2013 にバージョンアップを行うことができます。

バージョンアップには iGrafx 2013 用のライセンスキーが必要です。

旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

バージョンアップは、新規インストールと同様の手順で行うことができます。詳細手順は、「1 iGrafx 2013 を新規インストールする」(P7～)をご覧ください。

◆ SOX+を使用されている場合

iGrafx をバージョンアップした場合は 必ず同時に SOX+もバージョンアップしてください。

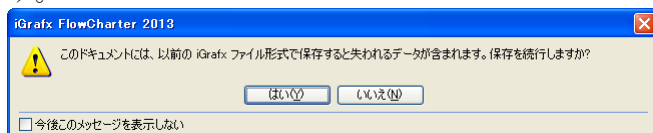
iGrafx 2013 では、SOX+の旧バージョン(Ver.5.0 以下)はお使いいただけません。

これまでの設定を新バージョンに移行するため、設定ファイル保存などの準備が必要になる場合があります。新バージョンのインストール前に、『SOX+バージョンアップガイド』(P25～)をご確認ください。

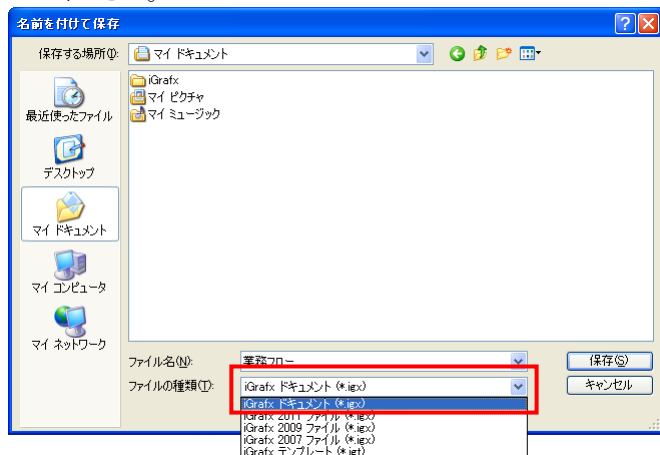
◆ 旧バージョンのファイルの互換性について

iGrafx のバージョンアップ後も、これまでに旧バージョンで作成された iGrafx ファイルは、そのまま使用することができます。

旧バージョンの iGrafx ファイルを開き、上書き保存すると、保存の都度、以下の確認メッセージが表示されます。



以後表示されないようにするには、iGrafx 最新版の標準形式「iGrafx ドキュメント (*.igx)」形式で保存し直してください。



なお、最新形式で保存しますと、旧バージョンの iGrafx では開けなくなりますのでご注意ください。

◆ 図形コレクションの引継ぎ

旧バージョンで、パブリックメディアコレクションに図形コレクションを追加して使用していた場合、自動的に新しいバージョンに引き継がれません。アプリケーションのインストールフォルダ内にある旧バージョンの「Palette」フォルダから、新しいバージョンの同名のフォルダにファイルを移動してください。

◆ テンプレートの引継ぎ

iGrafx 2013 では、共有テンプレートが使用できません。旧バージョンで共有テンプレートフォルダにテンプレートを追加していた場合、新しいバージョンの個人用テンプレートフォルダにファイルを移動してください。

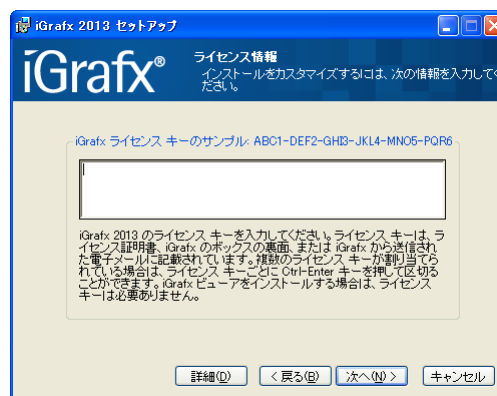
※図形・テンプレートの引継ぎについての詳細は「図形集、iGrafx テンプレートの移行」(P26～)をご覧ください。

3 iGrafx Viewer を新規インストールする

iGrafx Viewer は、iGrafx ドキュメントの閲覧と印刷のみができる文書閲覧用ソフトウェアです。フローチャートを編集することは出来ませんが、ライセンスの制限がなくインストールができます。

iGrafx Viewer のインストール手順は、iGrafx の新規インストールとほぼ同じです。「1 iGrafx 2013 を新規インストールする」(P7～) をご参照ください。

手順③の「ライセンス情報」ページで、ライセンスキーを何も入力せずに「次へ (N)」をクリックしてください。



SOX+をiGrafx Viewer にインストールすることはライセンス上できません。SOX+ Viewerをご利用ください。SOX+ Viewerとそのインストールについては、『SOX+詳細インストールガイド』(P12～)をご覧ください。

4 iGrafx 2013 をアンインストールする

iGrafx 2013 が不要になった場合は、Windows の「プログラムの追加と削除」または「プログラムのアンインストール」からアンインストールを行ってください。

アンインストールをせずに、ライセンスキーだけを削除して iGrafx Viewer として使用することもできます。

iGrafx を起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」からライセンスキーの「管理」ダイアログボックスを開きます。

「有効なライセンスキー」の中にあるライセンスキーを全て削除します。

ライセンスキー削除後、「FlowCharter 2013」「Process 2013」のショートカットから iGrafx を起動した場合などに、アクティベーションの確認画面が表示されます。

確認画面を表示したくない場合は、「Viewer 2013」のショートカットから iGrafx を起動してください。

ショートカットが無い場合は、インストール CD から追加することができます。

※SOX+は、ライセンスキーのみの削除はできません。SOX+が不要になった場合は、Windows の「プログラムの追加と削除」または「プログラムのアンインストール」からアンインストールを行ってください。

SOX+ 詳細インストールガイド



この度は SOX+製品をご購入いただきましてありがとうございます。

本ガイドでは、SOX+およびその付属アプリケーションのインストールについて説明しております。
iGrafxのインストールについては、『[iGrafx製品インストールガイド](#)』(P6～)を、整備/運用評価オプションの導入については、『[整備/運用評価オプション スタートガイド](#)』(P39～)をご覧ください。

◆ SOX+製品構成

「SOX+追加インストールディスク」からは、以下のアプリケーションをインストールできます。

| アプリケーション | 必要(購入)ライセンス | 対応言語 |
|-------------------------|-------------------|-------------------------------|
| SOX+ | SOX+ライセンス | 日・英・中 ※サーバー連携機能は日本語のみ対応です。 |
| SoxPlusAdministratorKit | | 日・英・中 |
| SOX+ Viewer | SOX+ Viewer ライセンス | 日・英・中 |
| SOX+ 整備/運用評価オプション | 評価オプションライセンス | 日本語版のみ |

◆ SOX+

iGrafx 上で動作する、内部統制文書化作業支援ツールです。
SOX+をインストールするには、SOX+ライセンス証書に記載の SOX+ライセンスキーが必要です。
※ 事前に iGrafx 製品のインストールを行ってください。

◆ SoxPlusAdministratorKit

SOX+の設定をカスタマイズするための管理者向けのソフトウェアです。
SoxPlusAdministratorKit(以下、本文中では AdministratorKit と記載します。)を使用するには、SOX+ライセンス証書に記載の AdministratorKit ライセンスキーが必要です。

◆ SOX+ Viewer (オプション製品)

iGrafx Viewer 上で動作する、SOX+で作成されたドキュメントを閲覧するためのドキュメントビューワーです。
SOX+ Viewer のインストールには、SOX+ライセンス証書に記載の SOX+ Viewer ライセンスキーが必要です。
※ 事前に iGrafx Viewer のインストールを行ってください。

◆ SOX+ 整備/運用評価オプション (オプション製品)

SOX+に付属するオプション機能です。別売のライセンスを購入することで、SOX+に整備評価・運用評価・CSAなどの機能を追加します。

◆ SOX+システム要件

SOX+および AdministratorKit の動作に必要な環境は以下の通りです。

※ SOX+および AdministratorKit のインストールには、PC の管理者権限が必要です。

| | |
|------------------|--|
| OS | iGrafxに準じます iGrafxのシステム要件については、『 iGrafx製品インストールガイド 』(P6～)をご覧ください。 ※iGrafx 2013 はWindows 2000 では動作しません |
| CPU・メモリ | iGrafx に準じます |
| HDD 空き容量 | SOX+:約 40MB AdministratorKit:約 40MB |
| ドライブ | CD-ROM ※インストールのためであれば、社内ネットワーク上にコピーを置いて使用することができます 利用規約については CD 同梱の『SOX+ ライセンス許諾.txt』をご覧ください |
| RCM 出力 | Microsoft Office Excel 2003, 2007, 2010, 2013 (32bit 版のみ。64bit 版では動作しません。) プリンタドライバが一つ以上インストールされていること |
| AdministratorKit | Microsoft Office Excel, 2003, 2007, 2010, 2013 (32bit 版のみ。64bit 版では動作しません。) プリンタドライバが一つ以上インストールされていること ※ Windows XP および Windows 8 では、Microsoft .Net Framework のインストールが必要になる場合があります。 |

RCM 帳票の出力およびカスタマイズには、Microsoft Excel 2003 以上とプリンタドライバが一つ以上インストールされている必要があります。インストール前にご確認ください。

◆ SOX+の対応言語

iGrafxおよびSOX+は、インストールPCのOSの使用言語を自動判定し、それぞれ適切な言語のバージョンでインストールされます。詳細については『[多言語版SOX+ご利用ガイド](#)』(P22～)をご覧ください。

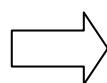
◆ SOX+のインストール

SOX+を購入すると、パッケージには通常 2 枚の CD が納められています。青いラベルの CD から iGrafx 製品をインストールし、次に黄色のラベルの CD から SOX+をインストールします。

青色のラベルの CD から
iGrafx をインストールする



黄色のラベルの CD から
SOX+アドオンをインストールする



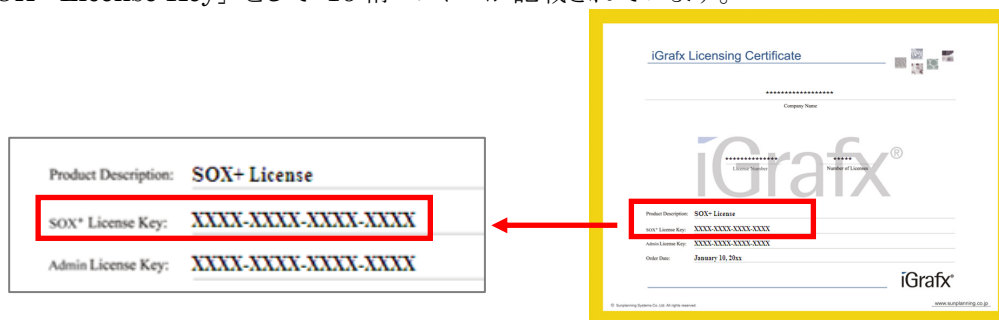
SOX+のインストールには、あらかじめ PC に iGrafx 2013 がインストールされている必要があります。PCにiGrafx製品がインストールされていない場合は、事前にインストールしてください。iGrafx製品のインストールについては『iGrafx 製品 インストールガイド』(P6~)をご覧ください。

SOX+のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

■ 「SOX+追加インストールディスク」 CD-ROM （黄色のラベルの CD-ROM ）

■ SOX+のライセンスキーが記載された黄色の**ライセンス証書**

※ 「SOX+ License Key」として 16桁 のキーが記載されています。

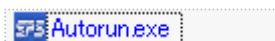


SOX+を新しくインストールする場合は、以下の「1 SOX+を新規インストールする」をご覧ください。旧バージョンが既にインストールされている場合は、「2 SOX+をバージョンアップする」(P17~)をご覧ください。

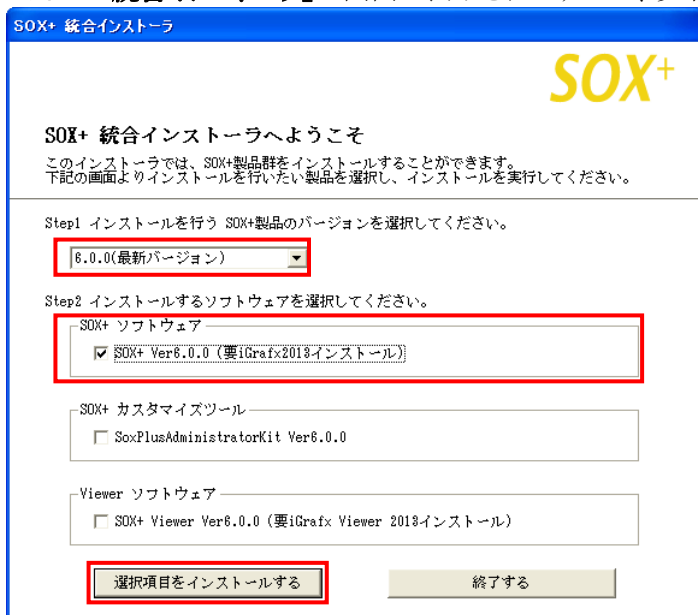
1 SOX+ を新規インストールする

- ① PC に「SOX+追加インストールディスク」の CD-ROM をセットし、「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されるまで少し待ちます。

※画面が表示されない場合は、「マイ コンピュータ」のCD-ROMドライブを右クリックし、「自動再生(P)」コマンドを実行するか、「開く(O)」コマンドでフォルダを開いて「Autorun.exe」を実行してください。



- ② 「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されますので、以下のように選択します。



Step1 インストールを行う SOX+製品のバージョンを選択してください。

⇒インストールを行う SOX+製品のバージョンを選択します。通常は「6.0.0(最新バージョン)」を選択します。

Step2 インストールするソフトウェアを選択してください。

⇒インストールを行う製品にチェックを入れます。

「SOX+ソフトウェア」の「SOX+ Ver.6.0.0(要 iGrafx 2013 インストール)」にチェックを入れます。

※SOX+カスタマイズツールが必要な場合、SOX+と同時にインストールができます。

「SoxPlusAdministratorKit Ver.6.0.0」にもチェックを入れてください。

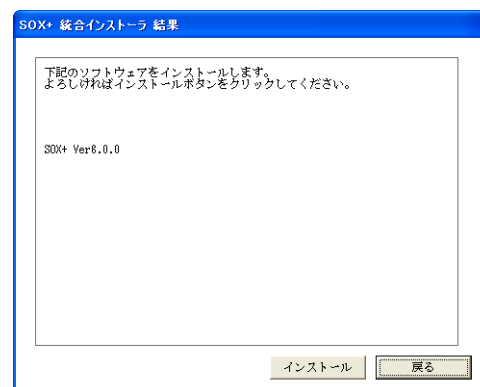
※SOX+ Server Edition として利用される場合、SOX+をインストールする際に、事前に iGrafx Process Central Client がインストールされている必要があります。

iGrafx Process Central Client のインストール方法については、製品と共に納品される『iGrafx Process Central インストールガイド』をご覧ください。

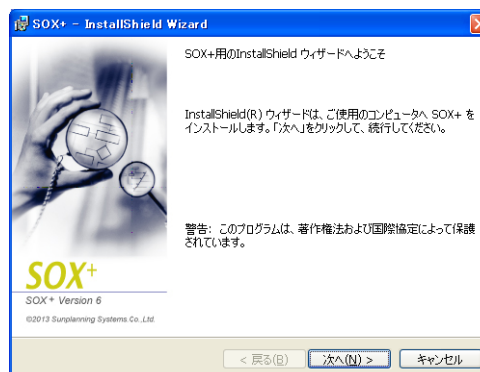
インストールするソフトウェアを選択し、画面の一番下の「選択項目をインストールする」をクリックします。

③ 「SOX+ 統合インストーラ 結果」画面が表示されます。

インストール対象になっているアプリケーション名を確認し、「インストール」をクリックします。

**④ SOX+のインストーラ「SOX+ - InstallShield Wizard」が起動します。**

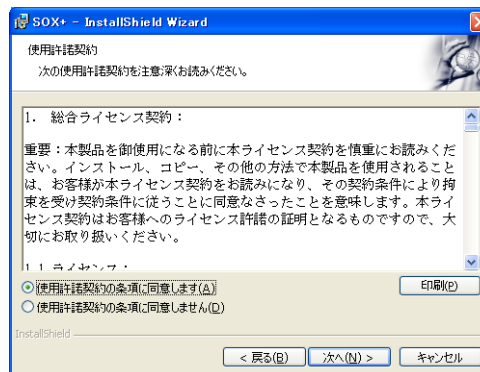
「次へ(N)」をクリックします。

**⑤ 「使用許諾契約」ページが表示されます。**

ここでは、本製品についての(株)サン・プランニング・システムズの総合ライセンス契約が表示されています。

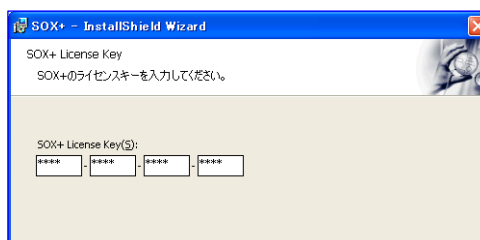
契約の文章を最後までご覧頂いた上で「使用許諾契約の条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックします。

(総合ライセンス契約のテキストは、CD 内にも納められています)

**⑥ 「SOX+ License Key」ページが表示されます。**

お手元の SOX+ライセンス証書に記載のライセンスキー(16 文字)を入力してください。

ライセンスキーは、ライセンス証書「iGrafx Licensing Certificate」の「SOX+ License Key」の行に記載されています。
※ 大文字小文字は区別して入力してください。

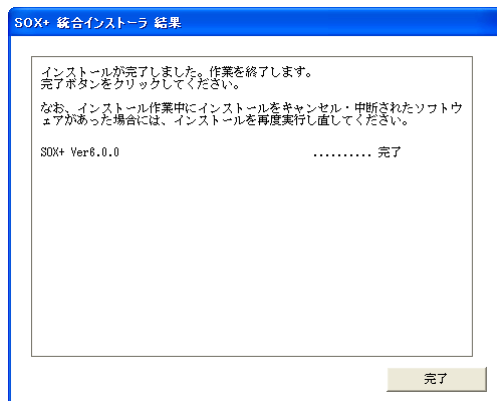


※右記のメッセージが表示された場合、iGrafx Process Central Client をインストールする必要があります。詳細は、製品と共に納品される『iGrafx Process Central インストールガイド』をご覧ください。



ライセンスキーの入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。

- ⑦ 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されますので、「インストール(I)」をクリックしてください。インストールが開始されます。
- ⑧ 「インストールの完了」画面が表示されます。「完了(F)」をクリックしてください。
- ⑨ 「SOX+統合インストーラ結果」画面が表示されます。「完了」をクリックしてインストーラを終了します。



- ⑩ 「FlowCharter 2013」を起動し、メニューに「SOX+」が追加されていることを確認します。



「SOX+追加インストールディスク」CD-ROM を取り出します。

SOX+の使い方の詳細については、Windows の「スタート」メニューの「すべてのプログラム」 「iGrafx」に登録されている、『SOX+ ユーザーズガイド』をご覧ください。

2 SOX+ Viewer をインストールする (有償オプション)

SOX+ Viewer をインストールするには、SOX+ Viewer ライセンスキー (有償オプション) が必要です。

SOX+ Viewer のインストールの手順は SOX+ に準じますが、インストールには iGrafx Viewer がインストールされている必要があります。(ライセンス上、SOX+ Viewer を iGrafx FlowCharter にインストールして使用することはできません。)

iGrafx Viewer ではフローチャートの閲覧・印刷ができます。

さらに SOX+ Viewer をインストールすると、SOX+ダイアログボックスの内容の閲覧や RCM 出力、印刷ヘッダーへの文書情報の出力も行えるようになります。

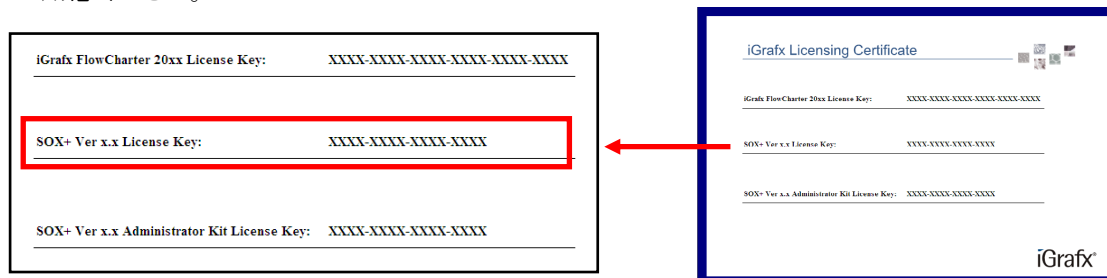
また、SOX+と同じ手順で配布ファイルを取り込むことで、SOX+と同様にカスタマイズされたの画面項目名、RCM テンプレートなどを利用できます。配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される『SOX+ ユーザーズガイド』をご覧ください。

3 SOX+ をバージョンアップする

既に SOX+の旧バージョンがインストールされている場合、上書きインストールでバージョンアップを行うことができます。

SOX+ Ver.6.0 のインストールには、**Ver.6.0 のライセンスキーの入力が必要です。**
旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

あらかじめ SOX+の新しいライセンスキーが記載された**ライセンスキー証書「iGrafx Licensing Certificate」**をお手元にご用意ください。



バージョンアップのライセンスキーは、iGrafx、SOX+、AdministratorKit のライセンスキーが1枚の証書に記載されています。インストール CD-ROM に記載のバージョンと、**ライセンスキー証書**に記載のバージョンが一致していることを確認の上、バージョンアップ作業を進めてください。

【設定の引継ぎ】

SOX+をバージョンアップすると、お使いの配布ファイルについてもバージョンアップが必要な場合があります。

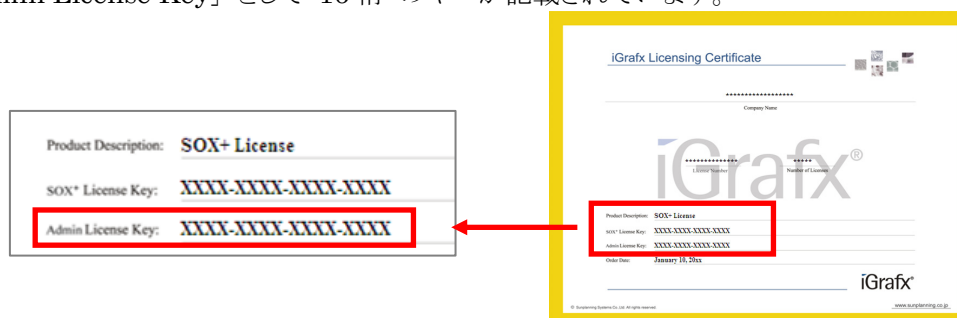
配布ファイルのバージョンアップ方法や、ドキュメントの互換性などのバージョンアップ時の注意点については、**『SOX+バージョンアップガイド』**(P25～)をご覧ください。

整備/運用評価オプションをお使いの場合は、**『整備/運用評価オプション バージョンアップガイド』**(P42～)も併せてご覧ください。

◆ AdministratorKit のインストール

AdministratorKit のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

- **SOX+追加インストールディスク CD-ROM**（黄色のラベルの CD-ROM）
- AdministratorKit のライセンスキーが記載された黄色の**ライセンス証書**
※ 「Admin License Key」として 16桁 のキーが記載されています。



※ AdministratorKit のインストールには SOX+がインストールされている必要はありません。
ただし実用上からは SOX+がインストールされている PC にインストールされることをお勧めします。

1 AdministratorKit を新規インストールする

- ① PC に「SOX+追加インストールディスク」CD-ROM をセットし、「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されるまで少し待ちます。

※画面が表示されない場合は、「マイ コンピュータ」のCD-ROMドライブを右クリックし、「自動再生(P)」コマンドを実行するか、「開く(O)」コマンドでフォルダを開いて「Autorun.exe」を実行してください。



- ② 「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されたら、以下のように選択します。

Step1 インストールを行う SOX+製品のバージョンを選択してください。

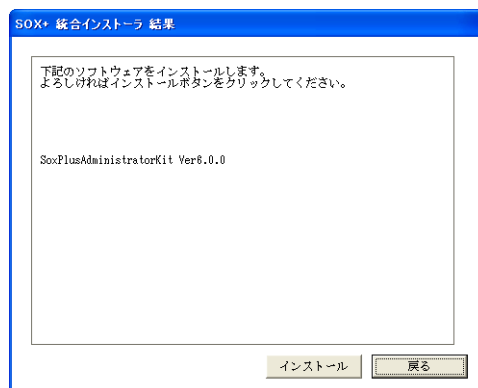
⇒ここでは、インストールを行う SOX+製品のバージョンを選択します。「6.0.0 (最新バージョン)」を選択してください。

Step2 インストールするソフトウェアを選択してください。

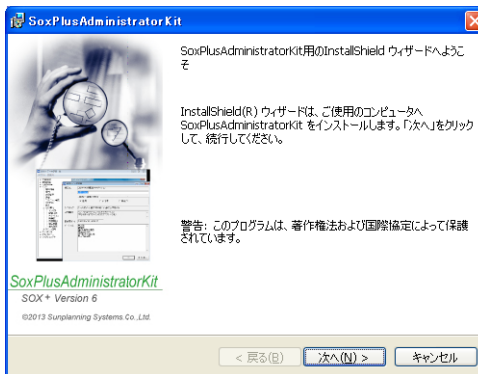
⇒「SOX+ カスタマイズツール」の「SoxPlusAdministratorKit Ver.6.0.0」にチェックを入れます。

選択を終えたら、画面の一番下の「選択項目をインストールする」をクリックします。

- ③ 「SOX+ 統合インストーラ 結果」画面が表示されます。インストール対象になっているアプリケーション名を確認し、「インストール」をクリックします。



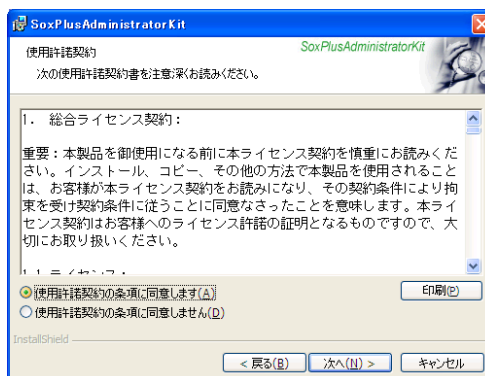
- ④ SoxPlusAdministratorKit のインストーラが起動します。「次へ(N)」をクリックします。



- ⑤ 「使用許諾契約」ページが表示されます。ここでは、本製品についての(株)サン・プランニング・システムズの総合ライセンス契約が表示されています。

契約の文章を最後までご覧頂いた上で「使用許諾契約の条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。

(総合ライセンス契約のテキストは、CD 内にも納められています)

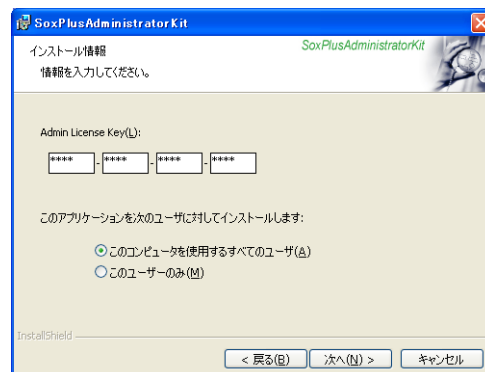


- ⑥ 「インストール情報」ページが表示されます。
ここでは、お手元の SOX+ライセンス証書に記載のライセンスキー(16文字)を入力してください。

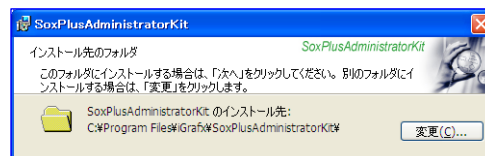
ライセンスキーは、対応するバージョンの**ライセンス証書「iGrafx Licensing Certificate」**の「Admin License Key」の行に記載されています。

※ 大文字小文字は区別して入力してください。

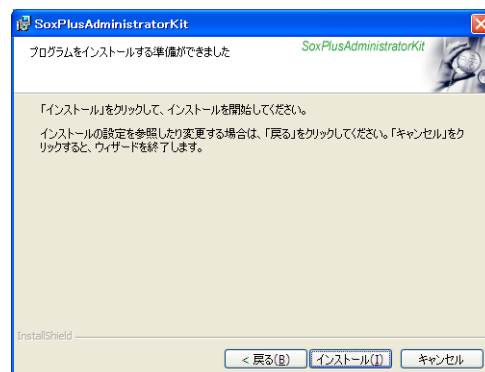
入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。



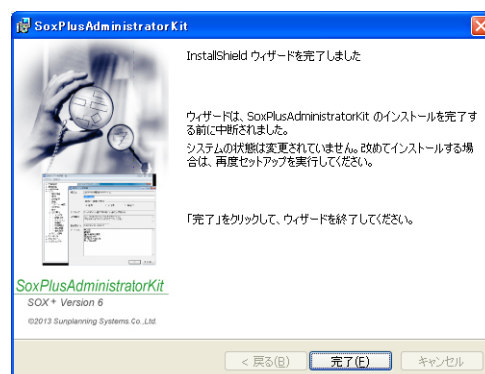
- ⑦ 「インストール先のフォルダ」ページが表示されます。
ここでは、アプリケーションのインストール先を指定できます。必要に応じて変更し、「次へ(N)」をクリックします。



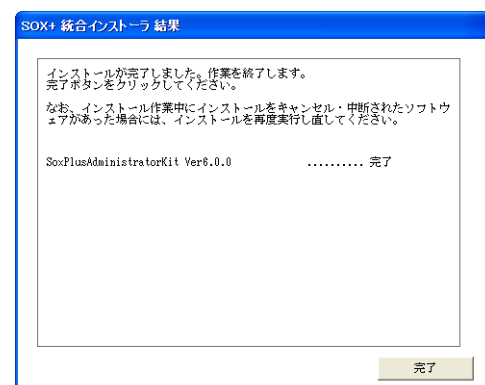
- ⑧ 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、「インストール(I)」をクリックしてください。
インストールが開始されます。



- ⑨ 「インストールの完了」画面が表示されます。
「完了(F)」をクリックしてください。



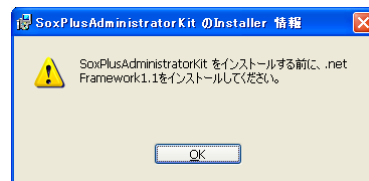
- ⑩ 「SOX+統合インストーラ結果」画面が表示されます。「完了」をクリックしてインストーラを終了します。



- ⑪ Windows の「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」 「iGrafx」の順にポイントします。
「SoxPlusAdministratorKit」を選択し、ソフトウェアが起動することを確認します。
「SOX+追加インストールディスク」CD-ROM を取り出します。

◆ Microsoft .NET Framework についてのエラー

- Windows XP へ AdministratorKit をインストールする際、環境により右記のエラーが表示される場合があります。エラーが表示された場合は、AdministratorKit のインストールを中断し、以下の手順で Microsoft .NET Framework 1.1 をインストールしてください。



「SOX+追加インストールディスク」CD-ROM 内の「600」-「Installer」-「donet1.1」-「Japanese (または他の使用言語のフォルダ)」フォルダ内にある、「dotnetfx.exe」をダブルクリックします。

Microsoft .NET Framework 1.1 のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

日本語、中国語 OS をお使いの場合は、続いて「langpack.exe」をダブルクリックし、NET Framework Language Pack をインストールして、PCを再起動してください。

- Windows 8 へ AdministratorKit をインストール後、環境により AdministratorKit の起動時に Microsoft .NET Framework についてのエラーが表示される場合があります。その場合は、Microsoft .NET Framework 3.5 をダウンロードしてインストールし、AdministratorKit を起動してください。

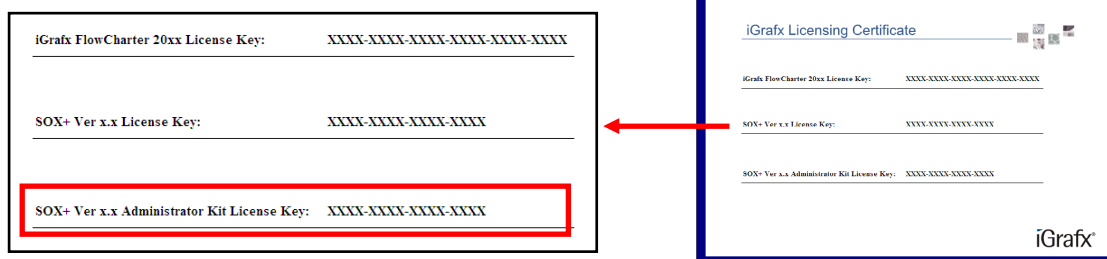
2 AdministratorKit をバージョンアップする

AdministratorKit をバージョンアップするには、下記の手順に従って、旧バージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンの AdministratorKit をインストールしてください。

また、バージョンアップを行うとこれまでの設定データは削除されますので、バージョンアップの前には必ず「配布ファイル作成」を行っておくなどして、これまでの設定内容を配布ファイルに保存しておいてください。

AdministratorKit のバージョンアップには、Ver.6.0 のライセンスキーが必要です。
旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

あらかじめ AdministratorKit の新しいライセンスキーが記載されたライセンスキー証書「iGrafx Licensing Certificate」をお手元にご用意ください。



バージョンアップのライセンスキーは、iGrafx、SOX+、AdministratorKit のライセンスキーが1枚の証書に記載されています。インストール CD-ROM に記載のバージョンと、ライセンスキー証書に記載のバージョンが一致していることを確認の上、以下の手順でバージョンアップ作業を進めてください。

- AdministratorKit をアンインストールする前に、これまでお使いの配布ファイルを確認してください。最新の配布ファイルが無い場合は、AdministratorKit を起動し、「配布ファイル作成」を行って最新の配布ファイルを作成しておきます。
- AdministratorKit をアンインストールし、インストールフォルダ（標準では”C:\Program Files\iGrafx”）に ”SoxPlusAdministratorKit” フォルダが残っていないかどうか確認します。残っていた場合は、フォルダごと削除します。

- ③ AdministratorKitを新規インストールします。詳細は「**1 AdministratorKitを新規インストールする**」(P18～)をご覧ください。
- ④ 配布ファイルをバージョンアップします。詳細は、『**SOX+バージョンアップガイド**』(P25～)および、インストールと同時にPCに導入される『**SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド**』をご覧ください。

◆ インストールの注意点

インストール中、個別のソフトウェアのインストール画面が統合インストーラの画面の下に隠れてしまう場合があります。画面が長時間変化しない場合は、Windows のタスクバーから作業中のインストール画面を確認してください。

◆ SOX+整備/運用評価オプションの利用

SOX+整備/運用評価オプションをご利用いただくには、SOX+のインストール後に、評価オプション ライセンスキーの登録が必要です。詳細は、『**SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド**』(P39～)をご覧ください。

既にSOX+整備/運用評価オプションをご利用いただいております、Ver.6.0 へバージョンアップされるお客様は、『**整備/運用評価オプション バージョンアップガイド**』(P42～)をご覧ください。

◆ SOX+と AdministratorKit のアンインストール

SOX+、AdministratorKit をアンインストールする場合は、Windows の「プログラムの追加と削除」または「プログラムのアンインストール」からアンインストールを行ってください。

多言語版 SOX+ご利用ガイド

SOX+

SOX+の Ver.3.2 以降では、OS の言語設定によってインストール後に使用できる言語が異なる場合があります。以下の注意点を良くご確認の上、ご利用ください。

◆ SOX+のインストール言語

1 OS の標準言語が日本語の場合

- iGrafx 製品、SOX+関連製品ともに、インストール時には日本語のインストーラが起動します。
- iGrafxの標準インストールでは日本語と英語の二ヶ国語がインストールされます。
※日本語OS上で中国語版もご使用になりたい場合は、iGrafxのインストール時に「カスタムインストール」を選択し、中国語言語セットの追加を行ってください。

※ iGrafxのインストールについては、[『iGrafx製品インストールガイド』\(P6～\)](#)をご覧ください。
※ iGrafxの言語セットは、後から追加インストールすることもできます。
- SOX+は、OS および iGrafx の言語セットに関わらず、日本語版・英語版・中国語版すべてがインストールされ、必要に応じて言語を切り替えて使用することができます。

言語を切り替えたい場合は、iGrafx の「ツール」メニューより「オプション」を選択して「オプション」ダイアログボックスを開き、「全般」タブの「アプリケーション言語」を対象言語に変更して、iGrafx を再起動します。
iGrafx の「アプリケーション言語」の設定に合わせて、SOX+の使用言語も切り替わります。

2 OS の標準言語が英語・中国語の場合

- OS の言語が英語の場合は、iGrafx 製品・SOX+ともに英語表示のインストーラが起動します。
英語 OS 上では、iGrafx の標準インストールでは英語のみがインストールされます。
- OS の言語が中国語の場合は、iGrafx 製品は中国語表示、SOX+は英語表示のインストーラが起動します。
中国語 OS 上では、iGrafx の標準インストールでは中国語と英語がインストールされます。
- 英語OS上で日本語・中国語をご使用になる場合、また中国語OS上で日本語をご使用になる場合は、iGrafx のインストール時に「カスタムインストール」を選択し、使用したい言語セットの追加を行ってください。

※ iGrafxのインストールについては、[『iGrafx製品インストールガイド』\(P6～\)](#)をご覧ください。
※ iGrafxの言語セットは、後から追加インストールすることもできます。

※ただし、中国語OS上でのSOX+日本語版の動作は原則として保証しておりません。
※日本語OS以外で日本語版を利用すると、環境によってダイアログボックスのタイトルなどに文字化けが発生する場合があります。
- SOX+は、OS および iGrafx の言語セットに関わらず、日本語版・英語版・中国語版すべてがインストールされ、必要に応じて言語を切り替えて使用することができます。

言語を切り替えたい場合は、iGrafx の「ツール」メニューより「オプション」を選択して「オプション」ダイアログボックスを開き、「全般」タブの「アプリケーション言語」を対象言語に変更して、iGrafx を再起動します。
iGrafx の「アプリケーション言語」の設定に合わせて、SOX+の使用言語も切り替わります。

※ 英語・中国語版の簡単インストールガイドは、「SOX+追加インストールディスク」内にあります。

◆ AdministratorKit のインストール言語

各言語版の Microsoft Excel の互換性には制約があるため、英語版や中国語版 Excel で使用する RCM テンプレートの編集・保存は、同じ言語版の Excel で行う必要があります。
そのため、AdministratorKit は、OS と同一の言語版のみがインストールされ、言語を切り替えて使用することはできません。

海外向けの配布ファイルを作成される場合は、対象言語の OS と Excel がインストールされた PC をお手元にご用意ください。

インストーラが自動的に対応した言語版の AdministratorKit をインストールします。

AdministratorKit 英語版・中国語版の基本操作は、日本語版と同一です。
(日本語版とそれ以外では一部機能にのみ差異があります)

なお、AdministratorKit は、海外向けの配布ファイルの作成であっても日本国内で使用されることが多いため、[『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』](#)は国内の事務局様向けに日本語版を作成しております。

◆ SOX+ 中国語版をご利用の際に

SOX+ 3.2 統合版以降では、SOX+用の図形集 (SOX+内部統制コレクション) の図形のフォントは、MS UI Gothic が指定されています。

MS UI Gothic は中国語の全ての文字には対応していないため、中国語を入力すると、表示できる文字はそのまま MS UI Gothic で表示されますが、表示できない文字は宋体 (Simsun) で補完されて表示されます。

このため、SOX+図形のテキストや、弊社で提供しているサンプルフローチャートに入力されている文字では、画面や印刷でフォントが混在した状態になる場合があります。

中国語版をご利用の際は、図形のフォントは中国語の全ての文字を表示可能なフォントに変更してご利用ください。

ご利用になる図形は、いったん SOX+内部統制コレクションから個人用メディアコレクションにコピーすれば、宋体等のフォントに変更してお使いいただくことができます。

◆ SOX+ サーバー連携機能の対応言語

SOX+サーバー連携機能は、日本語版限定の機能となっております。
英語版・中国語版に切り替えた場合、ご使用にはなりません。

◆ SOX+ 整備/運用評価オプションの対応言語

SOX+ 整備/運用評価オプションは、日本語版限定の機能となっております。
英語版・中国語版に切り替えた場合、ご使用にはなりません。

SOX+ 旧バージョンから移行する

◆ SOX+ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

- SOX+ バージョンアップガイド P25

SOX+の旧バージョンからバージョンアップする際にお読みください。

◆ SOX+ 6.0 の新機能を知る

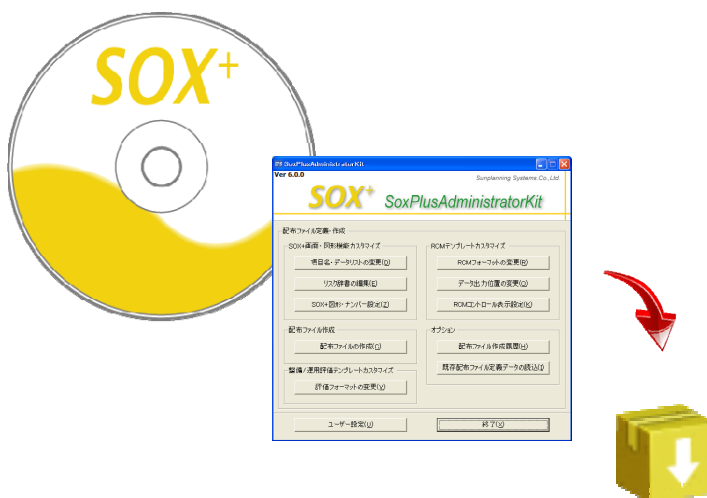
- SOX+ 新機能概要 P35

SOX+ Ver.6.0 の新機能をご利用される場合にお読みください。

◆ SOX+ の新機能を確認する

- SOX+ バージョンアップ履歴 P36

SOX+ Ver.3.0 以降で加えられた新機能や変更点の一覧です。



SOX+バージョンアップガイド

SOX+

SOX+ をご愛顧いただきありがとうございます。

本ガイドでは、SOX+旧バージョンから SOX+の最新バージョン (Ver.6.0、iGrafX 2013) へバージョンアップされる際の、それぞれの手順と注意点について説明しております。

これまで作成された内部統制文書をそのままご利用いただくために、バージョンアップの際は、必ず本資料の手順に沿って設定の移行を行ってください。

◆ バージョンアップ手順の概要と準備

1 バージョンアップ前の確認と準備

iGrafX 製品および SOX 関連製品のバージョンアップ (インストール) の前に、以下について確認をしてください。

1 配布ファイルの確認

SOX+をバージョンアップすると、旧バージョンの配布ファイルは、そのままでは取り込みができない場合があります。

SoxPlusAdministratorKit (Ver.2 では「管理者キット」) (以下、本文中では AdministratorKit と記載します) をお使いの方は、配布ファイルの設定を引継ぐことができるように、それまでに作成した配布ファイル (拡張子が.igs のファイル) があるか、必ず確認をしてください。

2 図形集・iGrafX テンプレートの確認

AdministratorKit の配布ファイル読み込み機能は、図形集・iGrafX テンプレートについては対象外です。

iGrafX および SOX+をバージョンアップされる前に、図形集・iGrafX テンプレートについても保存しておくことをお勧めいたします。

詳細は、「[図形集、iGrafXテンプレートの移行](#)」(P26～)をご覧ください。

2 iGrafX 製品および SOX 関連製品のバージョンアップ

配布ファイル、図形集、iGrafX テンプレートの確認後、iGrafX 製品および SOX 関連製品のバージョンアップ (インストール) を行います。

詳細手順については、それぞれ『[iGrafX製品インストールガイド](#)』(P6～) および『[SOX+詳細インストールガイド](#)』(P12～)を参照してください。

3 配布ファイルのバージョンアップ

iGrafX 製品および SOX 関連製品のバージョンアップ (インストール) 後、必要に応じて配布ファイルのバージョンアップを行います。

これまでにご利用の SOX+のバージョンによって手順が異なりますので、以前の SOX+のバージョンをご確認の上、本ガイドの該当項目をご参照ください。

配布ファイルバージョンアップの概要



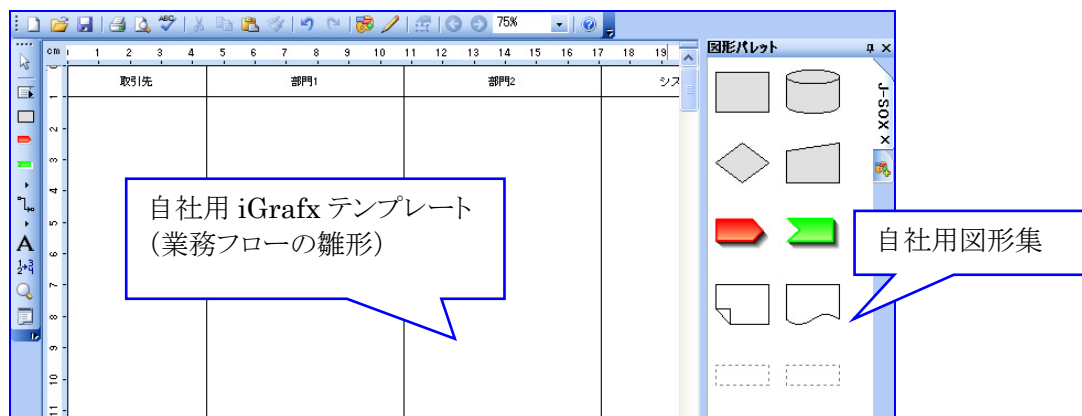
※ これまで作成したドキュメントをバージョンアップ後に開いて編集する時は、万が一のことを避けるため、必ずドキュメントのバックアップをとってから行うようにしてください。

※ 整備/運用評価オプションをお使いの場合は、『[整備/運用評価オプション バージョンアップガイド](#)』(P42～)も併せてご覧ください。

◆ 図形集、iGrafx テンプレートの移行

AdministratorKit の配布ファイル読み込み機能は、図形集・iGrafx テンプレートについては対象外です。

自社用の図形集・iGrafx テンプレートを使用されている場合、iGrafx および SOX+をバージョンアップされる前に、図形集・iGrafx テンプレートのデータについてご確認ください。



1 旧バージョンの配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合

iGrafx および SOX+をバージョンアップ後も、自社用の図形集・iGrafx テンプレートはそのままお使いいただけます。

iGrafx と SOX+、AdministratorKit をバージョンアップ後、配布ファイル作成時に『[SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド](#)』記載の手順で、配布ファイルに図形集・iGrafx テンプレートを添付してください。

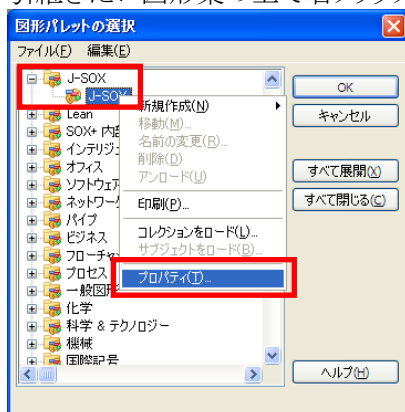
※ これまでにお使いの SOX+が Ver.5.0 の場合、配布ファイルのバージョンアップは必要ありません。

2 旧バージョンの配布ファイルの設定が「共有」の場合

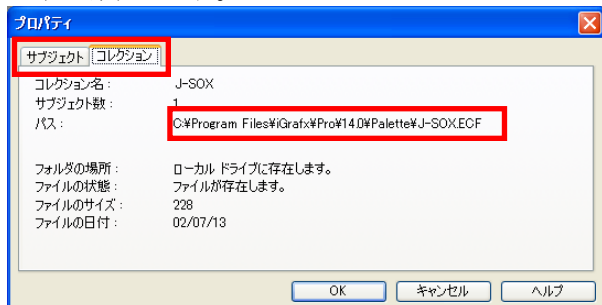
iGrafx および SOX+ をバージョンアップすると、これまでの自社用の図形集・iGrafx テンプレートは表示ができなくなります。バージョンアップ前に、以下の手順で図形集・iGrafx テンプレートを任意のフォルダに保存してください。

1 図形集の保存

- ① iGrafx を起動し、「F9」キーを押します。
「図形パレットの選択」(または「マネージメディア」)画面が開きます。
- ② 引継ぎたい図形集の上で右クリックし、メニューより「プロパティ」を選択します。



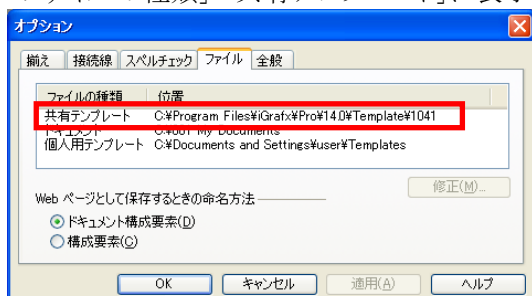
- ③ 「プロパティ」画面が表示されます。「コレクション」「サブジェクト」のタブの「パス」欄に表示されるパスとファイル名を確認します。



- ④ ③で確認したファイルを、Windows の機能で任意のフォルダにコピーします。

2 iGrafx テンプレートの保存

- ① iGrafx を起動し、「ツール」メニューより「オプション」を選択します。「オプション」画面が開きますので、「ファイル」タブをクリックします。
- ② 「ファイルの種類」-「共有テンプレート」に表示されるパスを確認します。



- ②で確認したパスに表示されているフォルダを、Windows の機能で開き、自社用の iGrafx テンプレートファイルを任意のフォルダにコピーします。

3 配布ファイルへの図形集・iGrafx テンプレートの添付

「1 図形集の保存」、「2 iGrafx テンプレートの保存」手順で保存した図形集と iGrafx テンプレートは、iGrafx と SOX+、AdministratorKit をバージョンアップ後、配布ファイルに添付して配布します。

AdministratorKit の「SOX+ 配布ファイル作成」画面の「コレクション(図形集)」「iGrafx テンプレート」欄で、「参照」ボタンをクリックし、図形集・iGrafx テンプレートを保存した任意のフォルダを指定してコレクション(図形集)ファイル、iGrafx テンプレートファイルをそれぞれ配布ファイルに同梱します。

※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される[『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

◆ SOX+Ver.5.0 (iGrafx 2011)から Ver.6.0 への設定の移行

Ver.5.0 でお使いの配布ファイルの設定が「共有」か「ユーザー毎」かで移行方法が異なります。iGrafx と SOX+、AdministratorKit をバージョンアップ後、以下の手順で、Ver.5.0 の配布ファイルの設定が「共有」か「ユーザー毎」かをご確認の上、該当する移行方法をご参照ください。

- ① AdministratorKit を起動します。
- ② 「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ③ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ④ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「配布ファイル情報」の欄の「バージョン」に 5.0.0 と表示されていることを確認します。
「定義取込位置」に、「共有」または「ユーザー毎」と表示されますので、確認します。
- ⑥ 「ユーザー毎」の場合は、配布ファイルのバージョンアップは不要です。「キャンセル」ボタンをクリックし、SOX+より配布ファイルの取り込みを行ってください。詳細は以下の「1 配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合」をご覧ください。

「共有」の場合は、配布ファイルのバージョンアップが必要です。「OK」ボタンをクリックして、配布ファイルを読み込み、引き続き、配布ファイルの作成を行ってください。詳細は「2 配布ファイルの設定が「共有」の場合」(P29～)をご覧ください。

1 配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合

Ver.5.0 でお使いの配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合は、Ver.6.0 の SOX+で、そのまま取り込みができます。配布ファイルのバージョンアップ作業は必要ありません。

iGrafx と SOX+をバージョンアップ後、以下の手順で配布ファイルの再取り込みをしてください。

- ① 「SOX+」メニューより、「SOX+のバージョン情報」選択し、「SOX+バージョン情報」ダイアログボックスの「配布ファイル取込」ボタンをクリックします。

- ② 「配布ファイル取込(ユーザー)」ダイアログボックスが開きます。「定義設定を初期状態に戻す」ボタンをクリックします。
- ③ 確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックし、設定を初期状態に戻します。
- ④ 「配布ファイル取込(ユーザー)」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックし、「配布ファイル選択」ダイアログボックスを開きます。配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「配布ファイル取込(ユーザー)」ダイアログボックスが開きます。「取込実行」ボタンをクリックします。
- ⑥ 取り込み完了のメッセージが表示されますので、確認し、「OK」ボタンをクリックします。

2 配布ファイルの設定が「共有」の場合

Ver.5.0 でお使いの配布ファイルの設定が「共有」の場合は、配布ファイルについてもバージョンアップが必要です。iGrafx と SOX+, AdministratorKit をバージョンアップ後に、以下の手順で配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

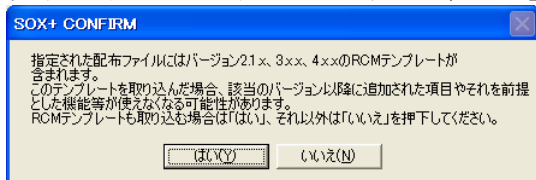
- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックして、配布ファイルを読み込みます。
- ⑤ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑥ AdministratorKit のメインメニューが開きます。「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑦ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑧ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑨ SOX+より、「1 配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合」(P28~)と同じ手順で、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時にPCに導入される[『SOX+ ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

◆ SOX+Ver.4.0 (iGrafx 2009)から Ver.6.0 への設定の移行

SOX+ Ver.4.0から、Ver.6.0へバージョンアップする際には、配布ファイルについてもバージョンアップが必要です。iGrafx と SOX+, AdministratorKit をバージョンアップ後に、以下の手順で配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。

- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



- ⑥ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑦ AdministratorKitのメインメニューが開きます。必要に応じ、新機能を使用するための設定変更を行います。
※新機能については、[『SOX+バージョンアップ履歴』](#)(P36～)を、設定方法の詳細については、インストールと同時にPCに導入される [『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑧ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑨ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑩ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑪ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SOX+ ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

◆ SOX+Ver.3系 (iGrafx 2007)から Ver.6.0 への設定の移行

SOX+ Ver.3系から、Ver.6.0へバージョンアップする際には、配布ファイルについてもバージョンアップが必要です。

iGrafxとSOX+、AdministratorKitをバージョンアップ後に、配布ファイルもバージョンアップを行ってください。

SOX+ Ver.3系の設定は、「業務実施者」「システム名」などの「データリスト」のほか、「RCMテンプレート」についてもVer.6.0へ引継ぎができます。

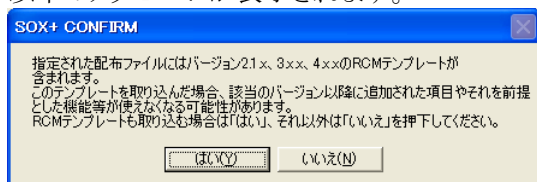
ただし、「RCMテンプレート」を引き継いだ場合は、Ver.4.0で追加された「対象リスク抽出条件」機能、およびVer.6.0で追加された「対象コントロール抽出条件」機能を使用できません。

「対象リスク抽出条件」機能、「対象コントロール抽出条件」機能を使用する場合は、Ver.6.0のAdministratorKitに配布ファイルを読み込む際に、「RCMテンプレート」の引継ぎをせず、Ver.6.0標準設定のRCMテンプレートを使用してRCMテンプレートを再作成してください。

詳細手順は、以下の通りです。

- ① AdministratorKitを起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。

- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下のメッセージが表示されます。



Ver.4.0 以降で追加された「対象リスク抽出条件」機能、Ver.6.0 で追加された「対象コントロール抽出条件」機能を利用したい場合は、「いいえ」を選択します。

「いいえ」を選択した場合、AdministratorKit の「RCM フォーマットの変更」-「RCM テンプレートの表示」を選択すると、Ver.6.0 標準設定の RCM テンプレートが開きますので、続けて RCM テンプレートの設定を行ってください。

これまでの RCM テンプレートを使用する場合は、「はい」を選択してください。

これまでの RCM テンプレートを引き継いだ場合、「対象リスク抽出条件」機能、「対象コントロール抽出条件」機能は使用できません。

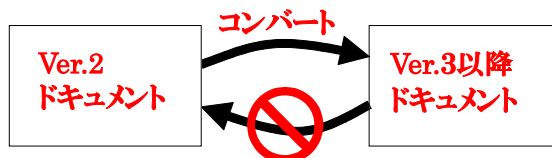
- ⑥ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑦ AdministratorKitのメインメニューが開きます。必要に応じ、新機能を使用するための設定変更を行います。
※新機能については、[『SOX+バージョンアップ履歴』](#)(P36～)を、設定方法の詳細については、インストールと同時にPCに導入される [『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑧ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑨ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑩ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑪ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SOX+ ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

◆ SOX+Ver.2 系 (iGrafx 2006)から Ver.6.0 への設定の移行

1 ドキュメントの互換性について

SOX+Ver.2 で使用されていた SOX+図形のナンバー表示形式は、Ver.3 以降で大きく変更されています。

そのため、Ver.2 (iGrafx 2006)で作成されたドキュメントを、Ver.3 以降の SOX+がインストールされた iGrafx で開くと、SOX+が自動的に新しい番号表示形式にコンバートされます。



また、Ver.2 (iGrafx 2006)で作成されたドキュメントを Ver.6 (iGrafx 2013)で開いた後は、Ver.2 (iGrafx 2006)形式で保存することができません。

そのため、Ver.2 (iGrafx 2006)と新しいバージョンの SOX+の併用は原則として避け、全ての PC を一斉にバージョンアップしてください。

また、バージョンアップ後のドキュメントの編集は、念のためバックアップを取ってから行うようにしてください。

2 自動コンバートについて

Ver.2 (iGrafx 2006)で作成されたドキュメントは、Ver.3 以降の SOX+がインストールされた iGrafx で初めて開いた時に、自動的に新しい番号表示形式にコンバートされます。

大きな図表や、子部門やフェーズが多用されている図表では、通常よりコンバートに時間がかかることがあります。過去に作成したドキュメントを開く際には、他のアプリケーションを終了するなどして、PCの処理能力に若干の余裕を持たせるように注意してください。

一度新しいバージョンで保存されたドキュメントについては、再度コンバートが行われることはありません。

3 Ver.2 系の設定の移行

SOX+ Ver.2 で、「管理者キット」で作成された配布ファイルをお使いのお客様は、Ver.6.0 へバージョンアップする際、配布ファイルについてもバージョンアップが必要です。

iGrafx と SOX+、AdministratorKit をバージョンアップ後に、配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

これまでお使いのバージョンが、Ver.2.0.x の場合と、Ver.2.1.xの場合とでは、新バージョンへ引継ぎ可能な設定内容が異なります。詳細は、以下の該当バージョンの項目をご覧ください。

また、Ver.3 以降では、Ver.2 に比較して、多くの機能拡張がされたほか、項目やデータリスト、RCM など多くの設定項目の追加や変更がされています。

新しいバージョンの項目や機能を使用する場合は、Ver.2 の配布ファイルから「データリスト」だけを引継ぎ、Ver.6.0 の標準 RCM テンプレートを 사용하여 RCM テンプレートの設定を行う必要があります。

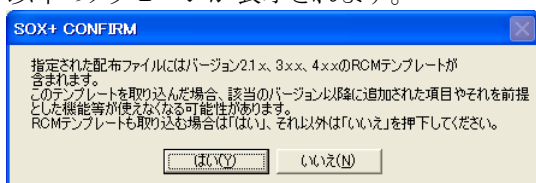
1 Ver.2.1.x の設定の移行

SOX+ Ver.2.1.x の設定は、「業務実施者」「システム名」などの「データリスト」のほか、「RCM テンプレート」についても Ver.6.0 へ引継ぎができます。

これまでの設定をそのまま使用する場合は、Ver.6.0 の AdministratorKit に配布ファイルを読み込む際に、「RCM テンプレート」も読み込むよう選択してください。その場合、Ver.3 以降で追加された項目や、それに関連する機能は使用できません。

移行手順は、以下の通りです。

- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下のメッセージが表示されます。



Ver.3 以降で追加された項目を使用したい場合や、新しい項目に関する新機能を利用したい場合は、「いいえ」を選択します。「いいえ」を選択した場合、AdministratorKitの「RCMフォーマットの変更」・「RCMテンプレートの表示」を選択すると、Ver.6.0 標準設定のRCMテンプレートが開きますので、続けてRCMテンプレートの設定を行ってください。

これまでのRCMテンプレートを使用する場合は、「はい」を選択してください。

これまでのRCMテンプレートを引き継いだ場合、新しいバージョンで追加された項目や、それに関連する機能は使用できません。

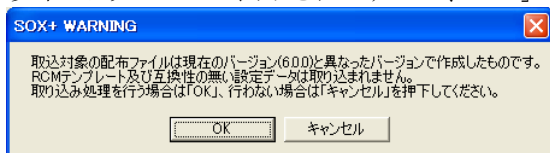
※新機能については、[『SOX+バージョンアップ履歴』](#) (P36～)をご覧ください。

- ⑥ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑦ AdministratorKitのメインメニューが開きます。必要に応じ、新機能を使用するための設定変更を行います。
※新機能については、[『SOX+バージョンアップ履歴』](#) (P36～)を、設定方法の詳細については、インストールと同時にPCに導入される [『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑧ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑨ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑩ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑪ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SOX+ ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

2 Ver.2.0.x の設定の移行

Ver.2.0.x の配布ファイルからは、RCM テンプレートの引継ぎはできません。配布ファイルの読み込みを行うと、「データリスト」のみを引継ぐことができます。

- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



AdministratorKit の「RCM フォーマットの変更」-「RCM テンプレートの表示」を選択すると、Ver.6.0 標準設定の RCM テンプレートが開きますので、続けて RCM テンプレートの設定を行ってください。

- ⑥ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑦ AdministratorKitのメインメニューが開きます。必要に応じ、新機能を使用するための設定変更を行います。
※新機能については、[『SOX+バージョンアップ履歴』](#)(P36～)を、設定方法の詳細については、インストールと同時にPCに導入される [『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑧ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑨ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑩ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑪ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SOX+ ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

4 配布ファイルバージョンアップサービス

Ver.2 から Ver.3 の間で、多くの新機能追加、仕様の変更があったため、配布ファイルのバージョンアップに多くの工数がかかる場合がございます。

現在 Ver.2 をご利用のお客様にも、スムーズに新バージョンをお使いいただけるよう、「配布ファイルバージョンアップサービス」をご用意しております。詳細につきましては担当営業までお問い合わせください。

SOX+新機能概要

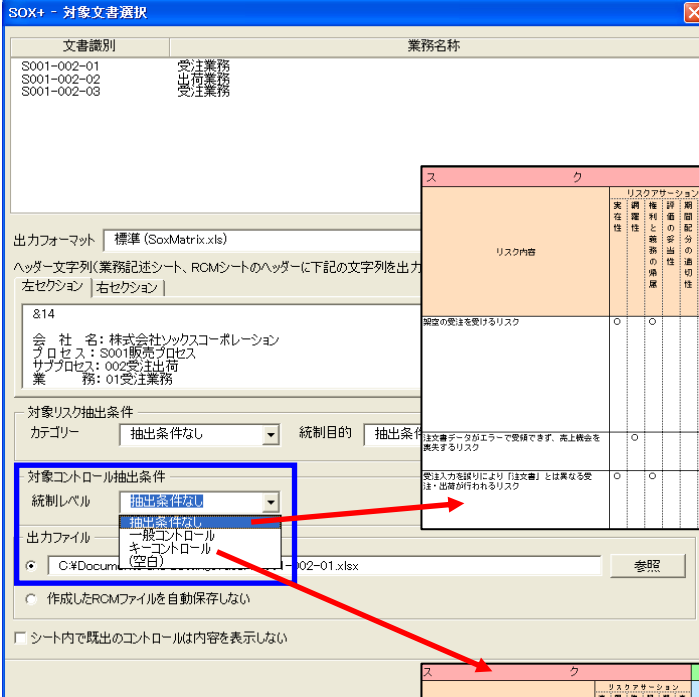
本資料は、SOX+の最新バージョン、Ver.6.0 の新機能についての概要をご説明しています。

iGrafX Process Central 及び SOX+ Server Edition を利用する場合には、インストールと同時にPCに導入される『SOX+ サーバー連携機能ガイド』をご覧ください。

◆ 新機能概要

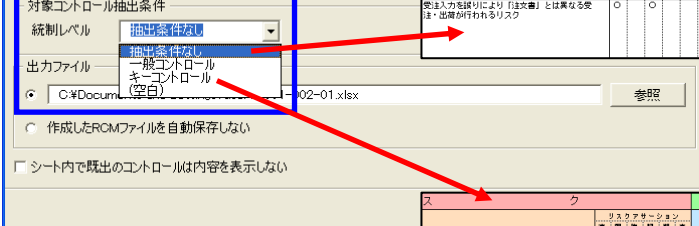
1 対象コントロール抽出条件

RCM 出力時に、キーコントロールのみなど、統制レベルを指定できる機能を追加しました。




抽出条件なし

「抽出条件なし」を指定した場合：
全てのコントロールが出力されます。



抽出条件なし

「キーコントロール」を指定した場合：
キーコントロールのみが出力されます。

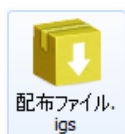


抽出条件なし

「キーコントロール」を指定した場合：
キーコントロールのみが出力されます。

2 配布ファイルのファイルアイコン

配布ファイルがアイコン表示されるようになりました。



SOX+バージョンアップ履歴

◆ SOX+ Ver. 3.0～6.0 の新機能・主な変更点

1 総合

3.0

- ・ Windows VISTA 対応 / Office2007 (Excel 2007) 対応 (xls 形式のみサポート)
- ・ 英語版 標準追加 (日本語版と切り替えて使用可能)
- ・ PDF ファイル簡易出力機能対応
- ・ インストール時に「共有」配布ファイルのデータ保存先を指定

3.0.1

- ・ 整備状況評価オプション機能の追加 (有償オプション)

3.1

- ・ 整備状況評価オプションの出力帳票に、交差タイプの RCM(「RC 関連表」)を追加

3.2

- ・ 中国語版の追加 (日本語版と切り替えて使用可能) ※iGrafx 12.2.0.968 以降

3.3

- ・ 整備/運用評価オプションの追加 (整備状況評価オプションに運用状況の評価機能を追加)

4.0

- ・ Windows 7 対応
- ・ リスクカテゴリーの追加
- ・ 整備/運用評価オプションの機能強化 (不備対応、CSA、最終評価の追加、シート機能の強化)

5.0

- ・ Office2010 (Excel 2010) 対応
- ・ 配布ファイル登録による複数配布ファイルの管理・切替機能の追加 (SOX+ Server Edition)

6.0

- ・ Windows 8 対応
- ・ 配布ファイルのファイルアイコン表示

2 項目追加・変更

3.0

- ・ 文書情報に「関係文書」タブを追加
- ・ 業務詳細に「勘定科目」欄、「追加部門」欄、業務実施者のリストに「他担当者」、「他責任者」を追加
- ・ リスクに「分類番号」欄、「リスク辞書」ボタンを追加

4.0

- ・ リスクに「カテゴリー」欄を追加

3 図形機能の追加・強化

3.0

- ・ 図形の置換時、「すべてのプロパティを置換」した場合でも SOX+のデータはそのまま残すよう対応
- ・ SOX+図形のナンバー表示を、テキストから表示位置を自由に変えられるフィールド表示に変更
- ・ 図形の追加 (業務詳細に添付して規定文書や使用帳票、業務詳細内容の内容を画面表示させる図形や、

- 業務やリスク・コントロールの内容を画面上に一覧表示させる図形などの追加)
- 使用帳票、規定文書、勘定科目、業務実施者、追加部門の内容の図形フィールド表示に対応

4.0

- キーコントロールを指定した時、図形の下部に"Key"と表示される機能を追加

5.0

- SOX+情報のメモ表示機能(業務内容、リスク内容、コントロール内容のポップアップ表示)

4 ダイアログボックス機能追加・改善

3.0

- メニュー順序変更、「表示情報の更新」メニュー追加、常時 SOX+メニューを表示
- 「リスク一覧」画面 リスクをターゲットとしている(フロー内の)コントロール数の表示
- 「コントロール一覧」画面 各コントロールのターゲットリスク数の表示
- 各詳細画面の入力欄の入力可能文字数の増加、1000 文字を超える入力欄に「拡大」ボタンを追加
- リスクに対応するコントロールの一覧画面を表示する「コントロール確認」ボタン追加
- その他入力仕様の改善

5 整合性チェックの強化

3.0

- 統制されていないリスクをチェック対象に追加
- 全てのリスクアサーションに対応するコントロールアサーションが存在するかをチェック対象に追加

3.1

- 文書識別の重複をチェック対象に追加

6 RCM出力・取込機能の強化

3.0

- RCM 出力の高速化
- シート名「業務記述書(表紙)」を「文書情報」に変更
- アサーション等のチェック記号を「×」から「○」に変更
- 一括取込時、取込元と取込先の突合チェック対象を「文書識別」のみに変更
- 一括取込時、「業務記述書(表紙)」/「文書情報」シートの内容も取り込み対象に追加
- 一括取込時、シート上で指定された名前の図形で新規図形を追加
- 一括取込時、リスクとコントロールの紐付き情報は変更せずに取り込むオプションを追加

3.0

- RCM 出力時に関係文書が全て開かれていない場合に警告

4.0

- 出力対象リスクの抽出条件を指定できる機能の追加
- RCM 圧縮機能(複数回登場するコントロールの省略(詳細の非表示)を選択できる機能)を追加

5.0

- Process Central リポジットリへの RCM 直接出力機能の追加 (SOX+ Server Edition)

6.0

- 統制レベルの抽出条件を指定できる機能の追加

整備/運用評価オプションをご利用の場合

◆ SOX+ 整備/運用評価オプションを導入する

- SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド P39

SOX+整備/運用評価オプションを使用する場合にお読みください。

◆ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

- SOX+整備/運用評価オプション バージョンアップガイド P42

DesignTestもしくはSOX+整備/運用評価オプションをすでにご利用中の場合にお読みください。

| リスク | | | | | コントロール | | | |
|-------------|------|----|------|-------------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 文書識別 | 業務名称 | No | カテゴリ | リスク内容 | リスク発生 | リスク検出 | リスク回避 | リスク軽減 |
| 3001-002-01 | 受注業務 | R1 | | 顧客の受注を失わせるリスク | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | R2 | | 注文書データがエラーで受領できず、売上損失を発生するリスク | ○ | ○ | | ○ |
| | | | | 入力間違いにより「注文書」となる受注・出荷が行われるリスク | ○ | ○ | | ○ |

SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド

SOX+

この度はSOX+整備/運用評価オプション(以下、整備/運用評価オプションと略称)をご購入いただきましてありがとうございます。

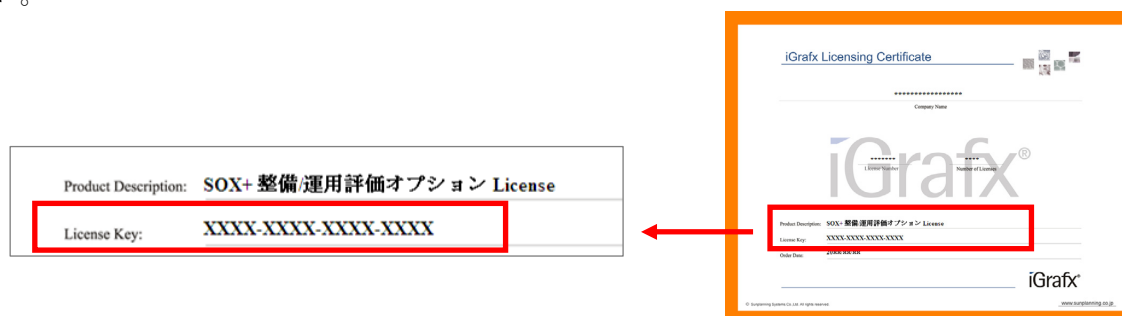
本ガイドでは、SOX+のユーザー様が、SOX+整備/運用評価オプション(以下、整備/運用評価オプションと略称)のご利用を開始される際に必要な作業手順についてご説明しております。

iGrafxのインストールについては、『iGrafx製品 詳細インストールガイド』(P6～)を、SOX+のインストールについては、『SOX+製品 詳細インストールガイド』(P12～)をご覧ください。

◆ SOX+整備/運用評価オプションの導入

整備/運用評価オプションは、SOX+のオプション機能です。
整備/運用評価オプション自体のインストールの必要はございません。

ご利用の際は、整備/運用評価オプションのライセンスキーが記載されたオレンジ色の**ライセンス証書**をご用意ください。



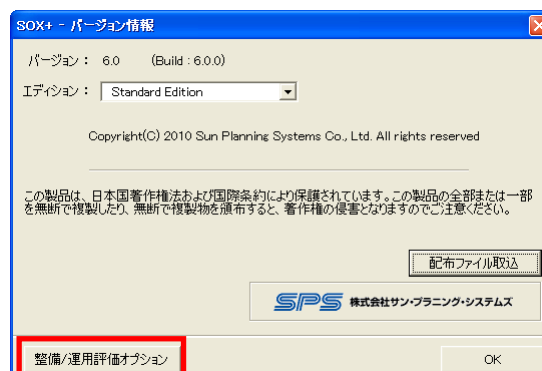
SOX+のメニューより、整備/運用評価オプションライセンスキーを登録しますと、整備/運用評価オプションの追加機能をご利用いただけるようになります。

SoxPlusAdministratorKit(以下、本文中では AdministratorKit と記載します。)を使用して整備/運用評価オプションの設定のカスタマイズを行われる場合は、整備/運用評価オプション ライセンスキーを AdministratorKit にも登録してください。

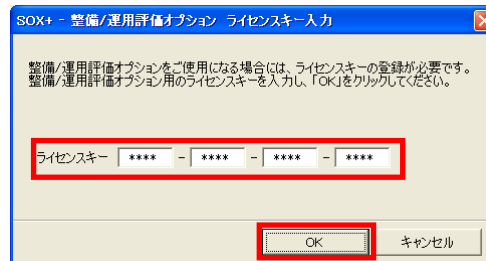
1 SOX+に整備/運用評価オプションライセンスキーを登録する

- ① SOX+の「SOX+」メニューの「SOX+のバージョン情報」をクリックします。

「バージョン情報」ダイアログボックスが開きます。

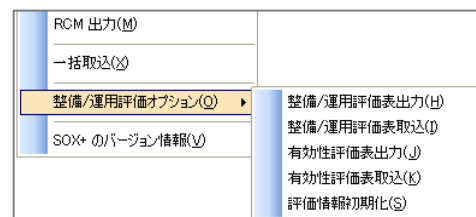


- ② 「整備/運用評価オプション」ボタンをクリックします。「**整備/運用評価オプション ライセンスキー入力**」ダイアログボックスが開きます。
『**整備/運用評価オプション License 証書**』に記載のライセンスキー(半角 16 文字)を登録し、「OK」ボタンをクリックします。
- ③ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 「**SOX+ バージョン情報**」ダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ iGrafx を終了し、もう一度起動します。OS の再起動は必要ありません。



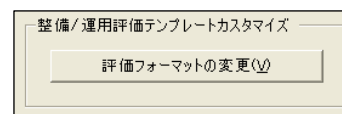
「SOX+」メニューに「整備/運用評価オプション」メニューが追加されていることをご確認ください。

※ 整備/運用評価オプションの使用方法や機能の詳細は、「スタートメニュー」-「すべてのプログラム」-「iGrafx」にインストールされる『**SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド**』をご覧ください。



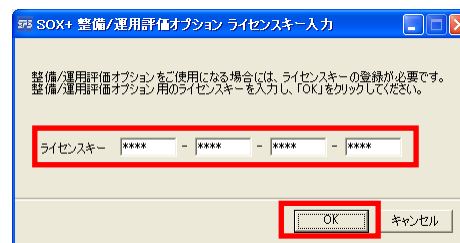
2 AdministratorKit に整備/運用評価オプションライセンスキーを登録する

- ① SoxPlusAdministratorKit を起動して、メインメニューの左下にある「整備/運用評価テンプレートカスタマイズ」の「評価フォーマットの変更」ボタンをクリックし、「**整備/運用評価オプション ライセンスキー入力**」ダイアログボックスを開きます。



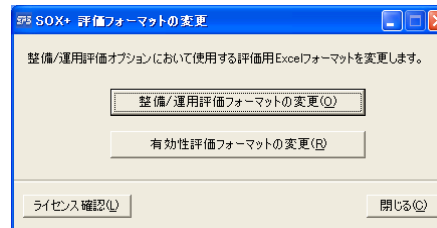
- ② 『**整備/運用評価オプション License 証書**』に記載のライセンスキー(半角大文字で 16 文字)を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ライセンスキーが正しく入力されていれば、「有効なライセンスキーが入力されました。整備/運用評価オプションの機能が使用可能になります。」というメッセージが表示されます。



- ③ 再度「評価フォーマットの変更」ボタンをクリックし、右記のように「**SOX+ 評価フォーマットの変更**」ダイアログボックスが表示されることを確認してください。

※右記の「整備/運用評価フォーマットの変更」「有効性評価フォーマットの変更」で、整備/運用評価オプションで追加される評価表テンプレートのカスタマイズを行うことができます。



項目名・データリストの変更機能は、既存の「項目名・データリストの変更」機能に追加されます。

カスタマイズの詳細については、インストールと同時に PC に導入される『**SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド**』をご覧ください。

3 AdministratorKit に以前のバージョンの配布ファイルを読み込む

整備/運用評価オプションをカスタマイズした設定データは、SOX+の配布ファイルに同梱されます。

AdministratorKit に整備/運用評価オプションのライセンスキーを登録後、現在お使いの配布ファイルをAdministratorKit に読み込んでから、整備/運用評価オプションの項目名、評価表フォーマットなどをカスタマイズしてください。

配布ファイルを作成されたバージョンが SOX+ Ver.3.0.1～Ver 5.0 の場合、以下のことにご注意ください。

- 整備/運用評価オプション ライセンスキーを登録後に、AdministratorKitの「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンからSOX+ Ver.3.0.1～Ver 5.0 の配布ファイルを読み込むと、以前の設定を引継ぐかどうかの確認のメッセージが(RCMテンプレートについての確認メッセージを挟んで)2回表示されます。評価オプションを新規で使用される方は、いずれも「はい」を選択してください。
※詳細については、『SOX+ 整備/運用評価オプション バージョンアップガイド』(P42～)をご覧ください。
- 旧バージョンの配布ファイルを引き継いだ場合、「RC 関連表」は非表示に設定されていることがあります。「RC 関連表」を表示させたい場合は、「RCMフォーマットの変更」-「RCM 出力情報の設定」ダイアログボックスで「RC 関連表」にチェックを入れてください。

SOX+整備/運用評価オプション バージョンアップガイド

SOX+

SOX+ をご愛顧いただきましてありがとうございます。

本ガイドでは、DesignTest および旧バージョンの SOX+整備/運用評価オプションのユーザー様が、SOX+整備/運用評価オプション(以下、整備/運用評価オプションと略称) Ver6.0 にバージョンアップされる際の手順と注意点についてご説明いたします。

※ SOX Ver6.0 及び AdministratorKit Ver6.0 へのバージョンアップ手順については、『[SOX+バージョンアップガイド](#)』(P25～)をご覧ください。

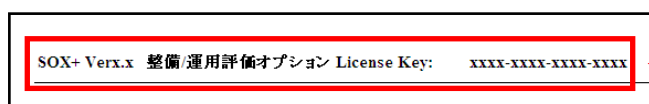
※ AdministratorKit をアップグレードする前に、旧バージョンの最終版の配布ファイルがあることをご確認ください。

最終版の配布ファイルが手元にない場合は、旧バージョンで配布ファイルを作成してからバージョンアップをしてください。

◆ 新バージョンのライセンスキーを登録する

SOX+整備/運用評価オプション Ver.6.0 のご利用には、Ver.6.0 のライセンスキーの入力が必要です。旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

あらかじめ SOX+整備/運用評価オプションの新しいライセンスキーが記載された**ライセンスキー証書「iGrafx Licensing Certificate」**をお手元にご用意ください。



SOX+と、AdministratorKit を Ver.6.0 にバージョンアップ後、整備/運用評価オプション Ver6.0 のライセンスキーを登録してください。

※ ライセンスキーの登録手順は、『[SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド](#)』(P39～)をご覧ください。

◆ ライセンスキー登録時の注意

これまでの SOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)を引継ぐには、AdministratorKit を使用して、旧バージョンの配布ファイルを読み込み、新バージョンの配布ファイルを作成し直す必要があります。

整備/運用評価オプションのライセンスキーが登録されていない状態で旧バージョンの配布ファイルの読み込みを行いますと、旧バージョンの「項目名・データリスト」「評価表」は AdministratorKit Ver6.0 に読み込まれません。

必ず配布ファイルの読み込み前に、新しいライセンスキーを登録してください。

◆ SOX+整備/運用評価オプションで使用する設定を選択する

1 AdministratorKit を初期化する

AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。「既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが表示されます。「初期設定を読み込む」ボタンをクリックし、設定を初期化します。

2 SOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)を読み込む

これまでの SOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)を引継ぐため、AdministratorKit の「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックし、旧バージョンの配布ファイルを指定して読み込みを実行します。

※ 整備/運用評価オプション ライセンスキーの登録前に旧バージョンの配布ファイルの読み込みをされた場合は、上記1.の手順で AdministratorKit の設定を初期化してから再度配布ファイルの読み込みを行ってください。

読込実行時には、DesignTest、旧バージョンの整備/運用評価オプションの設定について、引継ぐかどうかの確認メッセージが2回表示されます。

これまでにご利用のバージョンにより、設定方法が異なりますので、バージョンをご確認の上、本資料の該当項目をご覧ください。

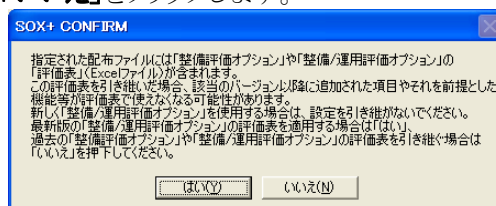
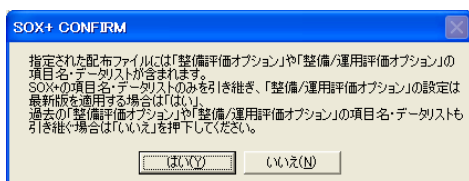
1 整備/運用評価オプション Ver.5.0 から Ver.6.0 への設定の移行

Ver.5.0 でお使いの配布ファイルの設定が「ユーザー毎」の場合、配布ファイルのバージョンアップは必要ありません。『SOX+バージョンアップガイド』(P25～)を参照し、SOX+への配布ファイルの取り込みを行ってください。

配布ファイルの設定が「共有」の場合、以下の手順で配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

配布ファイルの設定の確認方法、および移行の詳細は『SOX+バージョンアップガイド』(P25～)をご参照ください。

- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下のメッセージが表示されます。どちらも「いいえ」をクリックします。



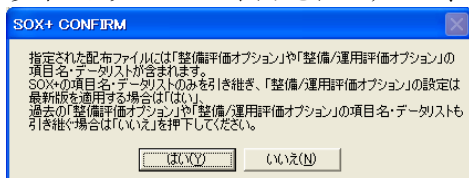
- ⑥ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

- ⑦ AdministratorKit のメインメニューが開きます。「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑧ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。
- ⑨ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑩ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される [『SOX+ ユーザーズガイド』](#)をご覧ください。

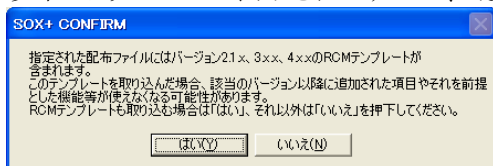
2 整備/運用評価オプション Ver.4.0 から Ver.6.0 への設定の移行

以下の手順で配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

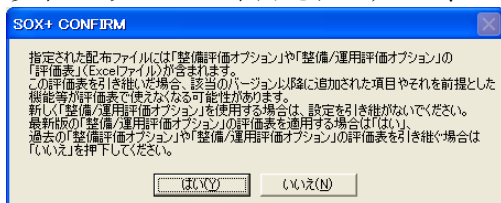
- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下のメッセージが表示されますので、「いいえ」をクリックします。



- ⑥ 以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



- ⑦ 以下のメッセージが表示されますので、「いいえ」をクリックします。



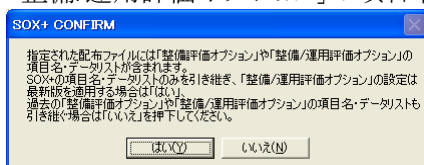
- ⑧ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

- ⑨ AdministratorKitのメインメニューが開きます。
 整備/運用評価オプションでは、Ver.4.0 以降、新機能は追加されていませんが、SOX+の新機能を使用する場合には必要に応じた設定の変更を行います。
 ※新機能については、『SOX+バージョンアップ履歴』(P36～)を、設定方法の詳細については、インストールと同時にPCに導入される『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』をご覧ください。
- ⑩ 設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑪ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
 ※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される 『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』をご覧ください。
- ⑫ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑬ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
 ※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される『SOX+ ユーザーズガイド』をご覧ください。

3 整備/運用評価オプション Ver.3.0.1～3.3.0 から Ver.6.0 への設定の移行

以下の手順で配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

- ① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。
- ② 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。
- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでお使いの配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「SOX+ 既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「整備/運用評価オプション」の項目名・データリストの引継ぎについてのメッセージが表示されます。

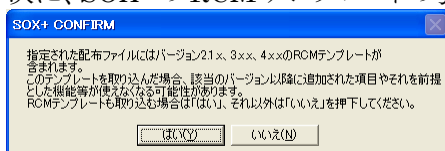


「はい」を選ぶと、整備/運用評価オプションVer6.0 の標準の「項目名・データリスト」が適用されます。

「いいえ」を選ぶと、DesignTestや旧バージョンの整備/運用評価オプションで使用していた「項目名・データリスト」が引き継がれます。この場合も、整備/運用評価オプションVer4.0 以降で新しく追加されたタブ、項目はそのまま表示されます。

新しく追加されたタブ、項目が必要ない場合は、『3 SOX+整備/運用評価オプションとDesignTest の相違点』(P47～)を参考に、AdministratorKitの「項目名・データリストの変更」から使用・不使用を切り替えてください。

- ⑥ 次に、SOX+の RCM テンプレートの引継ぎについてのメッセージが表示されます。



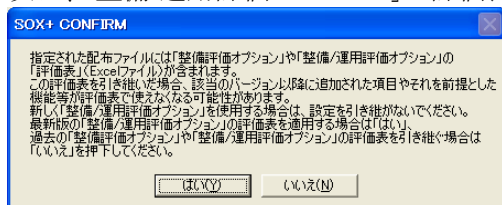
SOX+ Ver.4.0 以降で追加された「対象リスク抽出条件」機能、Ver.6.0 で追加された「対象コントロール抽出条件」機能を利用したい場合は、「いいえ」を選択します。

「いいえ」を選択した場合、AdministratorKit の「RCM フォーマットの変更」-「RCM テンプレートの表示」を選択すると、Ver.6.0 標準設定の RCM テンプレートが開きますので、続けて RCM テンプレートの設定を行ってください。

これまでの RCM テンプレートを使用する場合は、「はい」を選択してください。

これまでの RCM テンプレートを引き継いだ場合、「対象リスク抽出条件」機能、「対象コントロール抽出条件」機能は使用できません。

- ⑦ 次に、「整備/運用評価オプション」の評価表の引継ぎについてのメッセージが表示されます。



◆ Ver.4.0 までに追加された項目・機能は不要の場合

「いいえ」をクリックします。

旧バージョンで使用していた「評価表」がそのまま引き継がれ、以前と同様に使用することができます。ただし、整備/運用評価オプションVer4.0 以降で新しく追加された項目は「評価表」にありませんので出力ができません。

不要な項目はAdministratorKitの「項目名・データリストの変更」から、非表示もしくは不使用にしてください。

新しく追加された項目については、「[3 SOX+整備/運用評価オプションとDesignTest の相違点](#)」(P47～)の「**タブ名称・項目名**」を参照してください。

◆ Ver.4.0 までに追加された項目・機能を使用したい場合

「はい」をクリックします。

旧バージョンで使用していた「評価表」は引き継がれず、新しい「評価表」が適用されます。

旧バージョンで「評価表」の書式をカスタマイズしていた場合、AdministratorKitの「評価フォーマットの変更」で「評価表」をふたたび同様の書式に設定し直す必要がありますので、ご了承ください。

前項で、DesignTestで使用していた「項目名・データリスト」を引き継いでいた場合、整備/運用評価オプションVer4.0 の新しい「評価表」の項目名とDesignTestの項目名は一部異なるため、どちらかの修正が必要になります。

「[3 SOX+整備/運用評価オプションとDesignTest の相違点](#)」(P47～)を参考に、AdministratorKitで「評価表」もしくは「項目名・データリスト」をいずれかの設定に合わせて修正してください。

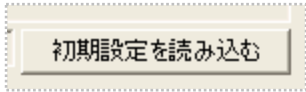
- ⑧ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

- ⑨ AdministratorKitのメインメニューが開きます。

必要に応じ、新機能を使用するための設定変更を行います。

※新機能については、『[SOX+バージョンアップ履歴](#)』(P36～)を、設定方法の詳細については、インストールと同時にPCに導入される『[SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド](#)』および、『[SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド](#)』をご覧ください。

- ⑩ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
- ⑪ 必要に応じ、「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。
※配布ファイル作成についての詳細は、インストールと同時に PC に導入される **『SoxPlusAdministrator Kit ユーザーズガイド』**をご覧ください。
- ⑫ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
- ⑬ SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。
※配布ファイル取り込みについての詳細は、インストールと同時に PC に導入される **『SOX+ ユーザーズガイド』**をご覧ください。
- それぞれ、「はい」、「いいえ」の選択を間違ってしまった場合は、いったん「既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスの「初期設定を読み込む」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックして初期化し、再度「既存配布ファイル定義データの読込」を実行してください。



3 SOX+整備/運用評価オプション と DesignTest の相違点

SOX+Ver3.3.0 から、DesignTest は SOX+整備/運用評価オプション という製品に切り替わりました。これまで DesignTest をお使いのお客様は、以下の表を参考にバージョンアップを進めてください。

1 評価表

SOX+整備/運用評価オプションと DesignTest の「評価表」(出力される Excel ファイル)は以下のように異なります。

| DesignTest | SOX+整備/運用評価オプション | 主な変更内容 |
|----------------|------------------|---|
| 業務整備状況評価一覧 | 業務整備評価一覧 | 資料タイトルが変更されています。 |
| コントロール整備状況評価一覧 | コントロール整備/運用評価一覧 | 資料タイトルが変更されています。 CSA、運用評価、不備対応などに関する出力項目が追加されます。 |
| リスク整備状況評価一覧 | リスク別有効性評価一覧 | 資料タイトルが変更されています。 CSA、運用評価、不備対応などに関する出力項目が追加されます。 |
| 整備状況の全体評価表 | 業務プロセス有効性評価表 | 資料タイトルが変更されています。 |

2 タブ名称・項目名

SOX+整備/運用評価オプションと DesignTest の標準のタブ名称・項目名は以下のように異なります。

| SOX+整備/運用評価オプション | DesignTest | 主な変更内容 |
|------------------|-----------------|--------|
| 「文書情報」ダイアログボックス | 「文書情報」ダイアログボックス | |
| 「有効性評価」タブ | 「整備状況評価」タブ | 名称変更 |
| 「評価」 | 「評価」 | |
| 「評価内容」 | 「評価内容」 | |
| 「問題点・改善内容等」 | 「問題点・改善内容等」 | |
| 「承認者コメント」 | 「承認者コメント」 | |

| SOX+整備/運用評価オプション | DesignTest | 主な変更内容 |
|--------------------|--------------------|--------|
| 「有効性評価情報履歴」 | 「整備状況評価情報履歴」 | 名称変更 |
| 「評価者」 | 「評価者」 | |
| 「評価日」 | 「評価日」 | |
| 「承認者」 | 「承認者」 | |
| 「承認日」 | 「承認日」 | |
| 「業務詳細」ダイアログボックス | 「業務詳細」ダイアログボックス | |
| 「整備手順」タブ | 「整備状況」タブ | 名称変更 |
| 「方法」 | 「方法」 | |
| 「テスト手順」 | 「テスト手順」 | |
| 「整備評価」タブ | 「整備状況評価」タブ | 名称変更 |
| 「評価」 | 「評価」 | |
| 「評価内容」 | 「評価内容」 | |
| 「評価者」 | | 追加 |
| 「評価日」 | | 追加 |
| 「方法」 | 「問題点・改善内容等」 | 用法変更 |
| 「承認者コメント」 | 「承認者コメント」 | |
| 「承認者」 | | 追加 |
| 「承認日」 | | 追加 |
| 「IT 業務詳細」ダイアログボックス | 「IT 業務詳細」ダイアログボックス | |
| 「整備手順」タブ | 「整備状況」タブ | 名称変更 |
| 「方法」 | 「方法」 | |
| 「テスト手順」 | 「テスト手順」 | |
| 「整備評価」タブ | 「整備状況評価」タブ | 名称変更 |
| 「評価」 | 「評価」 | |
| 「評価内容」 | 「評価内容」 | |
| 「評価者」 | | 追加 |
| 「評価日」 | | 追加 |
| 「方法」 | 「問題点・改善内容等」 | 用法変更 |
| 「承認者コメント」 | 「承認者コメント」 | |
| 「承認者」 | | 追加 |
| 「承認日」 | | 追加 |
| 「リスク」ダイアログボックス | 「リスク」ダイアログボックス | |
| 「有効性評価」タブ | 「整備状況評価」タブ | 名称変更 |
| 「評価」 | 「評価」 | |
| 「評価内容」 | 「評価内容」 | |
| 「評価者」 | | 追加 |
| 「評価日」 | | 追加 |
| 「問題点・改善内容等」 | 「問題点・改善内容等」 | |
| 「承認者コメント」 | 「承認者コメント」 | |
| 「承認者」 | | 追加 |
| 「承認日」 | | 追加 |
| 「コントロール」ダイアログボックス | 「コントロール」ダイアログボックス | |
| 「整備手順」タブ | 「整備状況」タブ | 名称変更 |
| 「方法」 | 「方法」 | |
| 「テスト手順」 | 「テスト手順」 | |
| 「統制頻度」 | 「統制頻度」 | |

| SOX+整備/運用評価オプション | DesignTest | 主な変更内容 |
|----------------------|----------------------|--------|
| 「計画サンプル数」 | 「計画サンプル数」 | |
| 「母集団」 | 「母集団」 | |
| 「整備評価」タブ | 「整備状況評価」タブ | 名称変更 |
| 「評価」 | 「評価」 | |
| 「評価内容」 | 「評価内容」 | |
| 「評価者」 | | 追加 |
| 「評価日」 | | 追加 |
| 「問題点・改善内容等」 | 「問題点・改善内容等」 | |
| 「承認者コメント」 | 「承認者コメント」 | |
| 「承認者」 | | 追加 |
| 「承認日」 | | 追加 |
| 「CSA 手順」タブ | | 追加 |
| 「CSA 評価」タブ | | 追加 |
| 「運用手順」タブ | | 追加 |
| 「運用評価」タブ | | 追加 |
| 「不備対応」タブ | | 追加 |
| 「最終評価」タブ | | 追加 |
| 「IT コントロール」ダイアログボックス | 「IT コントロール」ダイアログボックス | |
| 「整備手順」タブ | 「整備状況」タブ | 名称変更 |
| 「方法」 | 「方法」 | |
| 「テスト手順」 | 「テスト手順」 | |
| 「統制頻度」 | 「統制頻度」 | |
| 「計画サンプル数」 | 「計画サンプル数」 | |
| 「母集団」 | 「母集団」 | |
| 「整備評価」タブ | 「整備状況評価」タブ | 名称変更 |
| 「評価」 | 「評価」 | |
| 「評価内容」 | 「評価内容」 | |
| 「評価者」 | | 追加 |
| 「評価日」 | | 追加 |
| 「問題点・改善内容等」 | 「問題点・改善内容等」 | |
| 「承認者コメント」 | 「承認者コメント」 | |
| 「承認者」 | | 追加 |
| 「承認日」 | | 追加 |
| 「CSA 手順」タブ | | 追加 |
| 「CSA 評価」タブ | | 追加 |
| 「運用手順」タブ | | 追加 |
| 「運用評価」タブ | | 追加 |
| 「不備対応」タブ | | 追加 |
| 「最終評価」タブ | | 追加 |

(注)旧バージョン配布ファイルの読み込みにより適用される名称は、旧バージョンで上記リスト値をカスタマイズしていない場合の名称です。

旧バージョンで上記項目をカスタマイズしていた場合には、変更していた値が適用されています。

3 「評価」結果登録のデータリスト

SOX+整備/運用評価オプションと DesignTest の標準のデータリストは以下のように異なります。

| 対象リスト項目 | SOX+整備/運用評価オプションの標準リスト値 | 旧バージョン配布ファイルの読込みにより適用されるリスト値(注) |
|--|-------------------------|---------------------------------|
| 「文書情報」ダイアログボックス -「有効性評価」タブ -「評価」 | 有効 不備 その他 | ○ △ × |
| 「業務詳細」ダイアログボックス -「整備評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ △ × |
| 「IT 業務詳細」ダイアログボックス -「整備評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ △ × |
| 「リスク」ダイアログボックス -「有効性評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ △ × |
| 「コントロール」ダイアログボックス -「整備評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ △ × |
| 「コントロール」ダイアログボックス -「CSA 評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ × - |
| 「コントロール」ダイアログボックス -「運用評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ × - |
| 「コントロール」ダイアログボックス -「最終評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ × - |
| 「IT コントロール」ダイアログボックス -「整備評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ △ × |
| 「IT コントロール」ダイアログボックス -「CSA 評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ × - |
| 「IT コントロール」ダイアログボックス -「運用評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ × - |
| 「IT コントロール」ダイアログボックス -「最終評価」タブ -「評価」 | ○ × - | ○ × - |

(注)旧バージョン配布ファイルの読込みにより適用される名称は、旧バージョンで上記リスト値をカスタマイズしていない場合の名称です。

旧バージョンで上記項目をカスタマイズしていた場合には、変更していた値が適用されています。

ヘルプデスクのご案内

本ガイドについてご不明な点や、操作についてお困りの点がございましたら、弊社ヘルプデスクへお問い合わせください。

1 お問い合わせ先

適確な回答を差し上げるため、E-mail でのお問い合わせをお願いいたします。

iGrafx ヘルプデスク

メールアドレス : bpm_helpdesk@sunplanning.co.jp

サービス時間帯: 平日 10:00~17:00

土・日曜日、祝日、国民の休日および年末年始休業を除く営業日

お問い合わせの受付時刻や内容によっては回答が翌日以降となる場合もございますが、原則としてお問い合わせをいただいてから一営業日以内にご返信させていただきます。

※ご質問への回答上、必要な場合はこちらからお電話でご連絡を差し上げる事もございます。

2 お問い合わせメールに必要な事項

より迅速な回答を差し上げるため、以下の内容をご記入ください。

| | |
|------------------------|--|
| 件名 | iGrafx 問合せ (#御社名#) |
| お客様情報 | 御社名 お名前 E-mail 電話番号 |
| iGrafx 製品バージョン | 「ヘルプ」メニュー - 「iGrafx のバージョン情報」でご確認ください。 例:iGrafx FlowCharter Build 15.0.0.1538 |
| SOX+のバージョン | 「SOX+」メニュー - 「SOX+のバージョン情報」でご確認ください。 例:SOX+ Build :6.0.0 |
| Maintenance ライセンス番号 | License Number もしくは Order Number (証書の中央に二つある欄の左側に記載されています) |
| お問合せ内容 | 操作に関するご質問・機能に関するご質問・ほか |

ご利用時にトラブル等が発生した場合は下記内容もご記入ください。

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>インストールした PCに関する情報</p> | <p>メーカー名／機種名 OS(サービスパック, Build)／ CPU / メモリ 常駐プログラム名(アンチウイルスソフト・暗号化ソフト等) OSのインストールドライブの空き容量</p> |
| <p>エラー情報</p> | <p>迅速に対応させて頂くため、トラブルの状況や、トラブル発生の前に行っていた作業・操作などお知らせください。 エラーメッセージが表示された場合は、可能であれば画面キャプチャを撮り、Excel等に貼り付けてお送りください。</p> <p>ログ出力についてメッセージが表示された場合は、メッセージに表示されているフォルダを開き、ログファイルをお送りください。</p> |
| <p>Microsoft Excel のバージョン情報</p> | <p>SOX+の RCM 出力や一括取込など、Excelとの連携機能に関する場合はExcelのバージョンもご確認ください。</p> |

iGrafx／SOX+製品 トレーニングのご案内

弊社では、内部統制文書化ツール SOX+や iGrafx FlowCharter、iGrafx Process 等の各種ツールの操作や使い方を詳しく説明する、1日から数日間のトレーニングを実施しております。

セミナーでは、経験豊富な講師陣が、専用テキストをベースに多岐にわたる機能をわかりやすく実践的にご説明いたします。ツールの便利な機能を効率良くご活用いただく為にも、ぜひご利用ください。

お一人でもお気軽に参加いただける定例開催トレーニングのほか、ご希望の日時と場所で開催する出張トレーニングも承っております。受講希望人数とご都合にあわせてご利用ください。

- コース、価格、スケジュールなどの詳細は、弊社サイトの【iGrafx トレーニング】セクションをご覧ください
<http://www.sunplanning.co.jp/product/igrafx/training/>